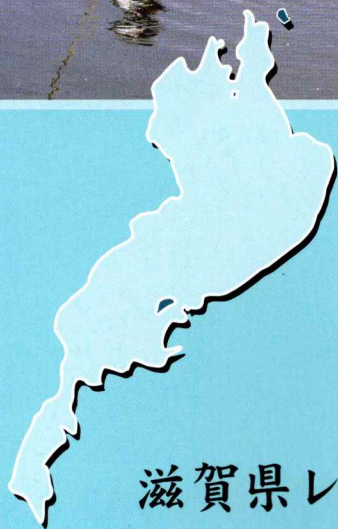


# 會 報

第 25 号



滋賀県レイカディア大学同窓会



## 滋賀県レイカディア大学校歌

# レイカディア讃歌

(高城修三 作詞)

- 一、近江の最中 青き湖  
ささなみ寄せる軽き音  
いつまでも尽きることなき  
その思い ともに学ばん  
さわやかに レイカディア  
レイカディア  
わがレイカディア
- 二、青垣つらね鈴鹿比良  
峰にたわむる白鳥の  
いつまでも果つることなき  
歓びを ともに遊ばん  
うるわしく レイカディア  
レイカディア  
わがレイカディア
- 三、淡海映す蒼き空  
宇宙が見せる深き貌  
いつまでも消ゆることなき  
その真実 ともに生きなん  
かぎりなく レイカディア  
レイカディア  
わがレイカディア

## 滋賀県レイカディア大学同窓会憲章

- 一、互いに助け合い、高齢者社会を生きる資質と実践力を高めよう。
- 二、心身の健康を保って、社会活動に積極的に参加し、高齢社会の支柱となって働こう。
- 三、古き良きものを伝承し、新しきを生み出して、郷土社会の健全な発展に尽くそう。
- 四、会員の研修及び母校の発展に寄与する活動を積極的、持続的に推進しよう。
- 五、社会の発展に即応する高齢者像の具現のため、に励みあい、提携し合う輪を内外に広めよう。

平成六年七月十一日改定

滋賀県レイカディア大学同窓会

# 同窓会活動の活性化の努力目標

1. 地域ボランティア活動および  
魅力的な幅広い事業活動を積極的に行う。
2. 支部間の交流をより一層活発に行う。
3. 組織のより一層の活性化をはかる。
4. 学校との連携および交流の強化をはかる。
5. レイカディア大学卒業生としての  
誇りと自覚を持って行動する。

## 目 次

同窓会長所感	
滋賀県レイカディア大学同窓会 会長 奥村常治郎	2
『會報』第25号発刊によせて	
滋賀県レイカディア大学 学長 嶋川 尚	3
平成20年度 同窓会本部のあゆみ	4
功労者表彰・受賞の喜び	11
長寿慶祝受賞者「わが人生一忘れ得ぬ思い出」	16
平成20年度 各支部の活動	29
《特集》グループ紹介	39
平成20年度 新入会員の紹介	60
平成20年度 本部役員の紹介	62
物故者を悼む	63
編集後記	64

表紙写真：初夏の水郷……近江八幡〔近江八幡支部第26期生活科学学科 小西靖雄氏 提供〕



## 何かを変える・サムシングニュー

レイカディア大学同窓会 会長 奥村 常治郎

みなさん、こんにちは、お元気でお過ごしのこととお慶び申し上げます。

去る5月31日、母校草津校で開催の本部定期総会において、私は第3期目の舵取りを託され、新執行部の指針に「何かを変える・サムシングニュー」を旗印に、意気込みも新たにスタートしました。

みなさんの温かいご支援とご協力を糧に同窓会の更なる充実発展を目指して一同頑張る決意しております。

### サムシングニュー・何かが変わる

何かを変える、変化させるにはそれなりのエネルギーが必要です。だからと言って肩肘張ってまで気張らなくても、マイペースで、みんなと仲良く楽しくやればよいのです。ただ、そんななかで時には、少し目先を変えて、今までのやり方に『プラスワン』するものはないか、あるいは、ここを一寸変えてみてはどうかあなど、周りの人にも声をかけてみる。

この発想が『サムシングニュー・何かを変える』きっかけになるのです。また、これが足がかりになってふれあいの輪が広がり、「3人寄れば文殊の知恵」の例えのように、小さいことが相乗効果により大きく膨らむこともあるのです。

このように自分だけの思いに留めず、気軽な話しかけが年寄りの引き籠もり解消にもつながるのではないのでしょうか。

「老い」を遠ざける秘策は、「一日に三人以上の人と話せ」と言われています、そのよいきっかけ作りにもなると思います。

### 「会員、2千名への近道」

「最近、支部が変わったなあ」の声が聞こえるようになれば占めた物、支部が魅せられた証です。脱会者が減り、入会を勧めてくれる人が増えるという好循環で、同窓会の活性化が本物になった。と言えるのです。この声がどこの支部からも聞こえて来て、創立30周年には2千名をこえる会員で迎えたいものです。

『サムシングニュー』このことは、地域活動の場においても言えることです。レイカディア大学卒業生だから、と肩肘張ってまで頑張らなくともみんなとペースをあわせ仲良く、楽しくやっていけばよいのです。

ただ、時には「あの人だれ」と聞かれ、レイ大の卒業生。「なるほどなあ、やっぱりなあ」と、時には「キラットひかる」そんな存在感のある人で居たいものです。



## 学長に就任して

レイカディア大学 学長 嶋川 尚

今年度より、前任の山田学長にかわり、新たに滋賀県社会福祉協議会会長および滋賀県レイカディア大学学長に就任しました嶋川でございます。

滋賀県レイカディア大学同窓会會報25号の発刊にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

レイカディア大学は、昭和53年に近江八幡の地で産声をあげて以来、30年の歳月が経過し、約4,300名の卒業生を送り出すという歴史を築くことができました。

これもひとえに、卒業後も陰に日向にレイカディア大学を支えてくださっている同窓会の皆様のお力に負うところが大きく、改めて皆様に厚くお礼申し上げます。

さて、我が国の高齢者人口は2,700万人といわれていますが、今後10年間で、この高齢者人口が倍増すると見込まれています。

従来、高齢者の施策や環境整備を考えるうえでは、「高齢化率」という指標で物事を考えることが中心となっていましたが、これからは高齢者の「実人員」をものさしに物事を考える時代が到来しているとも言われています。

高齢化がどんどん進行する中で、様々な課題が浮き彫りになりその対応に迫られている訳ですが、地域での高齢者の絶対数がどんどん大きくなるということは、これらの社会で「高齢者のために考える」ことイコール「地域を考える」ことにつながり、高齢者の観点なしでは何も進まない時代である。とも言えるのではないのでしょうか。

このような意味からも、レイカディア大学同窓会の皆さんは、地域では欠くことの出来ない貴重な一員であり、今日まで培ってこられました豊富な知識や経験とともに、レイカディア大学の学びを生かし、高齢者の方々の先頭に立って積極的にご活躍いただくことを、心から願っております。

私も、平成15年度から副学長としてレイカディア大学の運営に携わってきましたが、これからは学長として、さらにレイカディア大学の充実とともに、明るい長寿社会「レイカディア」の実現のために、努力して参りたいと考えておりますので、今後とも、ご支援ご協力を賜れば幸いです。

最後になりましたが、レイカディア大学同窓会のますますのご発展と会員皆様のご健勝ご多幸をお祈り申し上げ、発刊に寄せての挨拶といたします。

# 平成20年度 同窓会本部のあゆみ

## 1 平成20年度 本部定期総会

平成20年度本部定期総会は去る5月31日草津栗東支部の担当で懐かしの学び舎レイ大草津校の大教室において開催しました。来賓には堀レイカディア大学副学長、開催地の橋川草津市長、大道レイカディア振興部長ならびに橋本滋賀県老人クラブ連合会長をお迎えし、9支部の会員229名の出席を得て盛大に行われました。

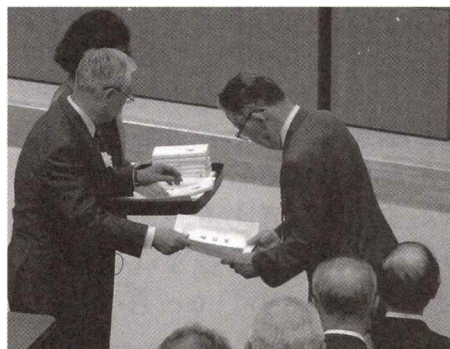
恒例の功労者表彰9名、長寿慶祝33名の方が受賞されました。議事進行に移り、提案事項は滞りなく可決、本部新役員も選出、承認され、無事盛会裡に終了。

終了後、南草津病院理事長 遠藤 勉先



◀ 奥村会長のあいさつ

生の「達者で百まで」と題して講演をしていただきました。長寿の秘訣は心身の若さを保つこと、いつまでも異性に関心を持ちおしゃれすることだとユーモアあふれる大変有意義な講演でした。

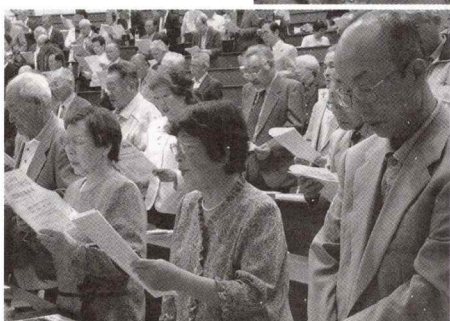


▲ 表彰受賞

▶ 記念講演



▲ 慎重審議の総会風景



◀ レイカディア讃歌斉唱

# 1—① 平成20年度 事業計画概要

月 日	事 業 の 概 要
5月31日	本部定期総会 於：レイカディア大学草津校大教室
7月25日	草津校における講座聴講と同窓会入会説明会
8月7日	米原校における講座聴講と同窓会入会説明会
9月11日	前期「地域活動事例発表会」於：レイカディア大学米原校
10月16日	支部交流グラウンドゴルフ大会 於：栗東市野洲川運動公園
12月15日	『會報』第25号発行
2月	後期「地域活動事例発表会」於：レイカディア大学草津校

# 1—② 平成20年度 予 算

## 1. 収入の部

(単位：円)

区 分	予 算 額	摘 要
前年度繰越金	379,494	
会 費 収 入	1,365,000	700円×1,950名
合 計	1,744,494	

## 2. 支出の部

(単位：円)

区 分	予 算 額	内 訳
会 議 費	285,000	総会費 250,000      その他会議費 35,000
旅 費	200,000	各種会議出席者交通費
事 務 費	60,000	事務消耗品費 25,000 通信費・雑費 35,000
慶 弔 費	400,000	褒賞費、弔慰費
事 業 費	620,000	総務部費 150,000 研修部費 70,000 広報部費 400,000
予 備 費	179,494	
合 計	1,744,494	

## 3. 特別会計基金 401,291円+当期利息

## 1 — ③ 平成20年度 新執行部



会長 奥村常治郎  
草津・栗東支部  
第17期 文芸学科

会長就任時に、自身に課したテーマに「会員2千名」を掲げました。これが実現と3期におよぶ任期にしのび寄るマンネリ化に対し「サムシングニュー・何かを変える」の変革の気構えで、魅せられた・活力ある同窓会を目指したいと思います。



副会長・総務部長 戸之洞貞夫  
湖北支部  
第20期 生活科学学科

湖北支部で、支部長の職を二期4年間つとめさせていただき、現在、本部の副会長として二期目の新参加者です。常任理事も三期目となりましたが、その間、会計や総務部も担当させて頂き、事にあたっては常に厳粛な気持ちで真摯に対処いたしております。

ややもすれば、マンネリ化に陥り易い同窓会活動に新風を吹き込み、活性化を図りながら、会員相互の弥栄と会の発展に寄与するのが、私に与えられた使命だと感じています。



副会長 木村茂治  
近江八幡支部  
第19期 園芸学科

毎号掲載の長寿慶祝者の玉稿は、私達に大きな希望と勇気を頂く思いがする。心に年齢はないはずと、常に前向きの大先輩達の心意気をしっかりと胸に受け止めていきたい。多様化する情報、意識の中で、足元を見つめながら一歩でも前進したいと念じているこの頃である。



事務局長 池田 邦治  
高島支部  
第20期 文芸学科

レイ大草津校を卒業して10年経過。卒業後、支部長6年目。事務局長5年目。高島から草津校、米原校共に大変遠く、車で約2時間。そのため毎年レイ大への入学生は4～5名。会員は79名で小さい支部。高島市は大変広域なので、事業を行うにも一苦労。広報「レイ大ミニ通信」を年5～6回発行し会員の連帯感、絆を強め、支部活動をより活性化したいと思っている。



## もっと楽しい、お互い助け合う、支部へ



会計 小林仁司  
守山・野洲支部  
第23期 文芸学科

最近の同窓会活動は「地域の担い手としてその成果の定着を目指す」と言う気運が徐々に高まり、「地元に見える形で応えられる様に変化しつつあり」大変喜ばしい事です。

しかし、一方同窓会員相互の親睦を図ると言う命題と、最近の社会現象で都市部まで限界集落に似た悲しいニュースに想いを馳せる時、果たして支部内は大丈夫かと素朴に検討の必要性を感じ、支部理事会で説明し協力を願ったところ、それに応え、「心身の健康維持」「安心と楽しさ」「お互い助け合う」そんな支部作りの骨子をまとめた「互助ネットワーク」構想を25期生三輪氏より示して頂いたので、25・26・27・28期生の若い力をお願いし、よりよい体制を構築、同郷の絆を大切に守山・野洲支部作りを目指しますの  
どうか支部会員皆様のご意見、ご理解、ご協力をお願い致します。



研修部長 三上善弘  
草津・栗東支部  
第20期 陶芸学科

社会参加のための基本を身に付けた私達は、長寿社会へ積極的に参画し地域の担い手として活動したい。

一方、同窓会の行事を通じて会員同志の親睦を深め、互いに楽しみ、笑いの多い生きがいある仲間作りを行いたい。



広報部長 岡崎一郎  
大津支部  
第21期 スポレク学科

### “より華も実もある支部をめざして”

支部長2期目、3年生、更に半歩前進をと願っています。そして何よりも支部長としての責任感、意欲の減退を戒めています。2期目の指針として下記の4つをかかげています。

- 1, もっと楽しい、もっと開放的な支部へ。
- 2, 一人一役運動的に会員の個別能力発揮の場づくり。
- 3, 地域への浸透、その重点課題に老人会への積極関与の推進。
- 4, 上記のための研修活動、広報活動の改善。



小林 和雄  
甲賀支部長  
第22期 陶芸学科

甲賀支部の事業計画目標として、『支部会員の健康推進と楽しみのある同窓会』を目指して、松本前支部長から継承してまいりました。これからも、継続して目標達成に、会員各位と共に努力する所存であります。



本間小一郎  
中部支部長  
第27期 文芸学科

## 日々是好日

平成20年度レイ大中部支部長に因らずも選任されました。私はレイ大卒業の日も浅く同窓会活動も充分でなく心もとなく思っておりますが、中部支部各分会長各位のご協力を頂きながら、楽しい同窓会が運営出来るよう努力して会員各位との親睦を計り、健康で百までを目標として地域社会に貢献出来るよう、明るく和やかに暮らして行きたいと願っております。



金子良一  
湖東支部長  
第21期 文芸学科

## 人材宝庫の宝探し

今年度より支部長に就任、本部関係、支部会員各位のご協力を頂きながら奮闘中。

学校の教育方針も生涯学習の一環から、各地域で地域活動を掘り起こし、仲間を組織して、活発な活動の出来る人材の育成にと変化しております。会員各位の活動状況の把握や、世代間の意見を取り入れ、個別能力を発揮願える場づくりを目指します。



西岡孝士  
湖北支部長  
第24期 園芸学科

以前、久方ぶりに訪ねて来た友人が知り合いの作家、永六輔さんに貰った詩を紹介してくれた。生きて行くと言うことは誰かに借りを返すこと「借りは遠くから返そう」という内容であった。

これが高齢社会の処世術だと気付いた私は、爾来この詩を座右の銘とし今まで生きてきた社会での借りを、自分に出来る事で地域社会に返すべく健康に留意しながら、気負わずに小さな努力を積み重ねたいと常日頃考えています。



## 2 レイカディア大学 必修講座の聴講

草津校（7月25日）、米原校（8月7日）で実施

武藤精蔵氏



レイカディア大学卒業生が地域づくりの役割を担い、地域活動の活性化を計るため卒業生を対象に実施されました。

草津校では里山保全団体・遊林会代表の武藤精蔵氏を講師として「自然を生かし、自らも生かされる」のテーマで里山の保全活動に取り組み、目的を同じくする者なら誰でも参加できる活動として現在も継続されています。

藤田博氏



米原校では大野木グラウンドワーク協会代表の藤田博氏を迎え、「大野木のまちづくり」として住民、企業、行政による活動を通し地域が豊かになるため、身近な環境の創造活動を実践しておられる講話を聴講しました。草津校で32名、米原校では29名が傾聴致しました。

## 3 第1回 地域活動事例発表会

9月11日・米原校で開催した初めての発表会は、卒業後の会員のみなさんが、それぞれの地域で趣味やスポーツを通じての仲間づくりやボランティア活動など日頃の活動事例や体験を発表されました。

今回は米原校区の4組5名の方が発表しましたが、貴重な経験談や苦労話は今後の活動に大いに参考になるものと期待しています。

なお、草津校区の発表会は来年2月28日に、草津校で開催することにしています。



120名収容の会場は超満員の盛況で、みなさん熱心に聞き入っていました。



湖北フォークダンス・レクダンス研究会の活動について

中島貞吉さん・樋口由紀子さん  
(湖北支部・第23期スポレク学科・共に)  
フォークダンスの実演やスライドを使って発表されるお二人

金亀会の活動状況について  
小林龍男さん（湖東支部・第15期スポレク学科）  
銭太鼓の発足やレクダンスなど軽スポーツを通じての仲間づくりの発表は、とても91歳には見えない



私のボランティア活動

奥居喜久子さん（中部支部・第20期スポレク学科）  
点訳のボランティア活動や施設のみなさんと童謡を楽しく歌いながら、無理なく生涯現役でやっていきたい、との発表



近江八幡における退職男性のボランティア活動  
浅岡徹夫さん（近江八幡支部・第28期生活科学学科）おやじの居場所探しと料理講習など講習を終えた仲間と立ち上げたボランティア集団の活動は、まさにNHKの「よおー、日本ー」テレビを地で行く話

## 4 第10回支部交流グラウンドゴルフ大会

### 地元の利を生かした草津・栗東支部が優勝！

スポーツの秋に相応しく晴れ渡った10月16日（日曜日）、三上山が一望でき、風光明媚な栗東市野洲川河川敷の特設グラウンドゴルフ場で開催された。

芝生もきれいに刈り揃えられた会場には、各支部で厳しい予選会を勝ち抜いた10チーム70名（湖北支部は2チーム出場）の選手が集合。久方ぶりに顔を合わせての楽しい談笑や、他支部会員との交流を図るなど、競技開始前から同窓会特有の和気藹々とした雰囲気にもまれていた。

今年の特徴は、①女子会員の出場枠を増やす意味で、各支部よりの登録選手を7名とし、内、2名は女性とすること。②お互いの名前を知り、気楽にプレーを楽しんでいただくとの思いから、選手名を書いた名札が準備された。

途中休憩をはさみ、24ホールでの競技はさすがに実力が伯仲し、優劣のつけ難い内容であったが、湖東支部の3連覇を阻止した地元の草津・栗東支部が雪辱し見事優勝に輝いた。

#### 【団体戦順位】

順位	支部	合計総打数
優勝	草津・栗東支部	434
準優勝	守山・野洲支部	437
三位	中部支部	442
敢闘賞	湖北支部A	446
々	湖東支部	461
々	甲賀支部	467
々	湖北支部B	468
々	近江八幡支部	470
々	大津支部	482
々	高島支部	504

#### 【個人戦順位】

注)個人戦順位第二位の3名は順不同

順位	支部名	氏名	総打数
一位	中部支部	青木 寛	51
二位	草津・栗東支部	遠藤岩一	55
々	守山・野洲支部	武富妙子	55
々	中部支部	田井中達三	55
五位	草津・栗東支部	中西将典	57



# 功労者表彰・受賞の喜び

本年度定期総会における功労者表彰は、各支部から選ばれた1名ずつ、計9名の方が受賞の栄に浴されました。日ごろのご活躍の様子、今後の抱負などご寄稿ねがいました。



大津

## レイカディアライフプランニング

第19期 スポレク学科 成瀬 莞爾

レイ大同窓会大津支部では、平成18年4月に会則を発展的に改定し健康、文化、研修、ボランティア、広報の五つ専門部を設置し、それぞれの部活動を通じて地域社会と連携につとめているところです。当支部は西北の志賀町から南は瀬田田上にいたる西域に細長い地形であり、比叡、中央、石山、瀬田の4地域のグループの特性を活かした活動を心掛けております。

レイカディア（きらめくびわ湖の理想

の郷土)の理念を尊重し、後期高齢者として周囲から見捨てられないよういよいよ好機高麗者としてのプライドとファイトをもって世界に誇る美しい楽土湖国を守り育ていくための同窓会活動を親睦団体の域から脱却してチャレンジしていくことを期待するものです。恥ずかしながら今年度の功労者表彰の受賞に際し、レイ大同窓会の更なる躍進を祈念して私のご挨拶といたします。



草津・栗東

## 炎に魅せられて

第11期 陶芸学科 中川 圭子

滋賀県老人大学校時代陶芸学科しか空席がなく入学させて頂きました。大津から水口教室まで遠距離通学。毎年冬になると県立信楽陶芸の森の大きな穴窯をお借りして、3日3晩仲間達と穴窯に挑戦しました。初めての冬、夜も更けて自動車の中で仮眠しながら、時間が来ると温度調整の為小さな焚き口から太い松割木を

作品にあたらないうり込む時、窯の中の炎の色は高温になると白く薄っすらと黄色をおびて穴窯一杯に渦を巻いて燃え盛り、黒い土も白く焼けて炎の中で、まるで真っ白な人骨がゆらゆらと蠢うごめいているように見えました。炎に魅せられ20数年、喜寿まで続けようと喜寿会という会を作り、良き仲間の方達に助けられ、喜寿の

年も遥かに通り過ぎ、中国湖南省の老人  
大学校との交流の際、自作の花器を持参  
したり、作り溜めた作品は福祉施設等の

バザーに提供したり、良き年月を送らせ  
て頂いたのも、又この度の表彰を頂いた  
のも、すばらしい仲間のお陰でございます。



守山・野洲

## 支部活動推進の仲間に感謝

第19期 園芸学科 河村 利逸

平成20年度の本部総会に於いて、功労  
者賞を頂き、誠に身にあまる光栄に浴し  
ました事は感謝の気持ちで一杯です。衷  
心より厚くお礼を申し上げます。振り返  
りますと、大学を卒業と同時に同窓会に  
入会させて頂き、早や10年が過ぎよう  
としております。その少し前に、今後の健  
康維持と職離れの空白を埋める為グラウ  
ンドゴルフを始めました。それがご縁で  
しょうか、支部活動の始まりは、グラウ  
ンドゴルフの世話役と地域活動の連絡係

を経て総務渉外担当をさせて頂きました。  
前支部長を始め役員皆様のご指導で、力  
強い支部活動推進の仲間に入れてもらっ  
たのが何よりの思い出として残っていま  
す。そのおかげでしょうか、本部グラウ  
ンドゴルフ交流大会への参加も早や10回  
目になろうとしています。

今後とも趣味を生かし、健康で楽しい人  
生を送るべく、会員皆様の変わらぬご交  
情を宜しくお願いし、併せて当会の益々  
のご発展を心よりお祈り申し上げます。



甲賀

## 功労賞を受賞して

第17期 生活科学学科 中森 静恵

平成20年5月31日、レイカディア大学  
同窓会の総会が懐かしき学びの里草津校  
大会議室で行われ、図らずも私が功労賞  
の栄に輝き大変恐縮致しております。あ  
りがとうございました。これも一重に皆  
様方のご支援ご協力あつての賜物と深く  
感謝致して居る次第でございます。

平成8年に卒業致しまして以来10年の  
長きに渡り皆様と共に、支部及び本部  
活動に励んでまいりました。ある時は

新入会員歓迎会と共に趣味の作品展、あ  
る時は、グラウンドゴルフ支部活動及び県  
大会、又ある時は親睦を兼ねた一日研修旅  
行にと支部長さんを筆頭に、色々勉強させ  
て頂き楽しい人生の一頁を飾る事が出来ま  
した。尚人生最後の一頁を赤十字奉仕団の  
ボランティア活動で締め括りたいと頑張っ  
て居ります。

最後になりましたが、皆様方の健康とご  
多幸を念じております。


**近江八幡**

## 「燦々と輝いていた日々」

 第15期 スポレク学科 **馬場 利**

今年度本部総会において、功労者表彰にあずかり、身に余る光栄と、心から感謝いたしております。

私は、平成4年に第15期生として、米原校のスポレク科に入学、2年間レクダンス等を通して、たくさんの学びと出会いを得ました。特に、高遠少年自然の家でのキャンプファイヤーや沖縄での4泊5日の卒業研修旅行など、私にとっては、初めての体験ばかりで、今も忘れられない素晴らしい思い出です。

卒業後は早速、グループを作って、地元の公民館でレク教室「燦々」を始め、十余年活動を続けました。若い人たちと共に、指導者として活躍の場も与えていただきました。

現在は足腰も弱り、活動からは遠のきましたが、ご褒美にいただいた功労者表彰を励みに、スポレクを通して学んだ「元気に明るく」をモットーにして、一日一日を大切に過ごしていきたいと思っております。本当にありがとうございました。


**中部**

## 私にとってのボランティア活動

 第20期 スポレク学科 **奥居喜久子**

この度、図らずも栄えある功労賞を受賞いたしました。多くの対象者の中から、地域におけるボランティア活動が評価されたことを大変うれしく感謝いたしております。

私にとってのボランティア活動は、1984年、地区内の高齢者を対象とした給食サービスから始まりました。並行して1988年に健康推進員となり、現在は、いこいの会やふれあいサロンの企画運営にもあたっています。

また、1993年に点訳サークル「燈火」を立ち上げ、代表として15周年を迎え

ることができました。小中高校などに出向き、点字やガイドヘルパーの体験講座を実施し、視覚障害者の理解の啓発に微力ながら努めているところです。童謡を歌う「とおりゃんせ」にも所属し、敬老会や病院など年間30回程度、一緒に楽しい時間を共有させてもらっています。

人とふれあう楽しさ、人に喜んでいただく嬉しさ、仲間がいる喜びをかみしめ、ボランティア活動を続けてきて本当によかったとつくづく思っています。

湖東



## 団体表彰功労賞を受賞して

第15期 スポレク学科 小林 龍男

この度団体表彰の栄に輝き、会員一同感激に浸っています。平成6年スポレク15期卒業前の8月、河瀬・稲枝地区のスポレク卒業生や在校生有志が、彦根市南老人福祉センターに集まり昼食会を開いた折り、ダンスの練習をしました。これを機会に彦根市在住のスポレク同窓生に声を掛け、毎月集ってダンスの復習をして親睦を図るクラブを結成しようという話がまとまりました。15期の私が早速皆に呼び掛ける文書を作成配布して、平成7

年4月から毎月1回集まることにし、クラブの名前を金亀会として発足しました。以後毎年の卒業生にも入会を勧め、会員も年毎に増加して参りました。市老ク連のスポーツ大会に我々のダンスを広める活動をした影響で、現在では各学区からダンス指導の要請が多いので、会員が各々の学区で老人クラブの会員に指導しています。高齢者の寝たきり予防、健康保持に有効だと好評を頂き、指導する会員が誇りを持って活躍して居ります。

湖北



## 受賞と学びの喜び

第17期 スポレク学科 南部 治男

この度は、功労者表彰の栄に浴し身に余る光栄と恐縮し感謝しているところです。

支部役員として10年間、取り立てて何もできなかった私でしたが、ただただ事業に積極的に参加し、協力を惜みず、楽しみながら参加させていただきました。

みなさんと交流する中、生きがいの数々の教えをいただき日々好日感謝で過ごしています。

平成8年、県より農の匠として認定を頂き野菜作りに専念しています。

又、そば作り・そば打ち講習では地

域の食グループや小学校の児童に食文化の伝承に微力ながら社会貢献ができればと努めています。

これからも元気でレイ大同窓会活動に参加し生涯学びを生きがいとして、余生を楽しんでいきたいと思っています。

益々のレイ大同窓会のご発展を祈念しお礼の言葉といたします。

ありがとうございました。





高島



## 西近江学校歴史博物館の開設

第21期 園芸学科 大村 進

築250年芽茸合掌三階建てで国の登録文化財に指定され城郭白谷館跡に、江戸時代は代官庄屋寺子屋を、明治初期には戸長役場と古い番号の小学校にもなり多数の資料が保存されており芽茸の教場は珍しく学校歴史博物館に活用するため県外各地から江戸時代、明治大正昭和初期の教科書や卒業証書など各種の賞状、通信簿、夏の友ノート類、その他学校関係の古文書等約二万点を収集。邸内には安寿と厨子王の伝説の

夫婦椿があり、21期の園芸学科全員による樹木手術実習がされた。

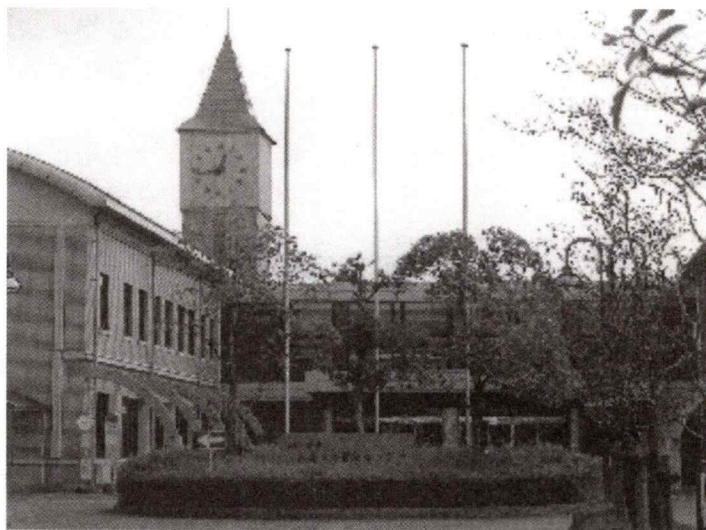
最近樹勢も良く花が一杯咲き、ここに西近江学校歴史博物館の開設計画がされていた時、私に表彰をしていただき、何かしら前途に明るい希望が出て来ました。早速館内に表彰状を掲げました。

博物館見学に見える方からおほめの言葉をいただいています。多彩な資料から時代背景や教育に対する考え方の移り変わりを感じる事が出来ます。

### 西近江学校歴史博物館（白谷荘民俗資料館）

住所：〒520-1837 滋賀県高島市マキノ町白谷343

電話：0740-27-0164



▲明るい長寿社会を拓く湖の理想郷「レイカディア大学」

長寿慶祝受賞に際して

# わが人生—忘れ得ぬ思い出

米寿をお迎いの33名の方々に、総会席上で長寿のお祝品が贈られました。  
過ぎこし方を振り返り、忘れ得ぬ思い出をご披露いただきました。



## 「わが人生—忘れ得ぬ思い出」

大津支部 第19期 園芸学科 岡本 豊

天知る、地知る、人ぞ知る、昭和26年10月当時大津市役所に勤務中で、準公金10万円を不注意にも無施錠の机引出にしまい暫時席を外した隙に盗まれました。その手口が大胆かつ巧妙であり私が幾ら説明しても信用されずに「狂言窃盗」と疑われ大津警察署で1週間にわたり取調べを受けました。その後6か月を経て京都市内の小学校で盗みをした男が捕まり

多数の余罪を自供し、その内の1件が私が被害にあった事件で漸く私への疑いが晴れました。それまでの間家族や親戚に対して私の不注意で世間に肩身の狭い思いをさせたことが悔やまれます。私の不注意から有らぬ疑いをかけられた悔しさは今でも脳裏を離れず、私の一生の不覚で筆舌に尽くし難い不幸な思い出です。



## 軍隊も運隊だった

草津・栗東支部 第7期 文芸学科 森野 三郎

十五年戦争はこの国の人々を狂わした時代。月月火水木金の講義で早期卒業。ペンを捨て銃を持ってとやらでインドアツサムのインパール作戦へ、問

答無用絶体絶命。運を天に任せて九死に一生。ジャワの極楽、ビルマの地獄死んで帰れぬニューギニア、印緬の戦野に散った19万5千の友を偲ぶと未

だ聞こえるわだつみの声。敵に最前線は我が方の最後尾線、敗走1500kmアラカン山系から南下、マルタパンからシャムへ。敗戦の詔勅をレシーバー（飯盒の中で）

聞いたときは38kgの瘦身血の滾りが一入。今は命長ければ辱ずること多く感謝のひぐらしです。DNAの遺伝子を学びつつ、歎異抄と般若心経が日課です。



## “人生”きらめく

草津・栗東支部 第11期 生活科学学科 板村 照子

希望をつかんで生きること、趣味を持つことで自分は何が出来るかしらと考えたとき、何も思いつかない。…やってみないとわからないと一応誰でもそう思うことがあると思います。

レイ大で2年間学んだ友人と相談しながら、これなら何とかやれるんじゃないかと考えまして、やっと出会ったことが出来たのが和紙ちぎり絵でした。

やってみましょうか……と決めて、それから自分のいろいろな知識能力を引き出し合わせて一生懸命に習い、努力に努力して、ようやく講師の資格までとれました。

お陰様で、公民館で教室を開かせて頂き展示会などの催しにも出品し、多くの皆様に協力していただきながら勉強を続けてまいりました。

手芸などの作品が出来上がる時の楽しさは格別で、心が弾む気持ちでいっぱい

です。ここまでやってこられたことは、健康であるからこそ頑張れたのだと思っております。規則正しい生活、3度の食事は腹八分目、好き嫌いしないでよく噛むことが大切だと思います。毎日、少しでも散歩したり、適当に体を動かし、無理しないことです。新聞には目を通し、テレビのニュースを見て時代の流れに遅れないように努め、時間があればいろいろな本を読んだり、日記も一日の行動記録や備忘録として書いております。

歳を重ねてまいりました最近では、地域の行事に参加させて頂いて視野を広めようと努めております。皆様方に支えられて今日まで出来ましたことを有難く感謝いたしております。これからは、出来る範囲で、気持ちを若く持って、何事にも挫けずに、充電しながら頑張ってまいりたいと思えます。



## 一冊の本

草津・栗東支部 第17期 文芸学科 児玉 薫

一冊の本との出会い（思想の花びら）

亀井勝一郎著、人生出会いの大切さを。

それは、人、本、路傍の石だってよい、その事が自分の生涯の指針になれば、とありました。私もこの本との出合いが読書する事の意義をさと、友達に呼びかけ読書グループを…。それは昭和47年3月の事でした。それが今、現在も継続して36年目の歳月につながっています。友達に支えられ今も続けら

れている事のうれしさを実感しています。一冊の本との出合いから今ある事への感激、米寿を迎え話し合える友を持つ事の大切さをしみじみと感じています。この36年の経過は私にとって忘れ得ぬ思い出となっています。レイ大学で学んだ数々の事も又……。



## 感激の一日

守山・野洲支部 第16期 生活科学学科 山元 和子

五月晴れ米寿祝わる壇上に

よろずの恵みを受くる幸せ

とても米寿まで生かされるなんて思いませんでした。去る5月31日米寿のお祝いのご招待を承り壇上に立たせて頂き、たった2年間のご縁に依りこのような感激を頂きましてありがとうございました。お隣のお友達は「一週間前、

息子に先立たれ施設に入って居ります」との淋しそうなお姿に、明日は我が身に振りかかってくることやらと、老いの実感でございました。どうか乗り越えて下さればと心に念じ乍ら帰途につきました。お祝金、記念写真迄頂き亡き主人に報告させて頂き心温められました。感激をありがとうございました。



## 皆々様に感謝

守山・野洲支部 第21期 文芸学科 橋本 壽子

この度、長寿のお祝いを賜り有難く御礼申し上げます。お礼文を出さなければなりません、昨秋よりの腰痛悪化、その上最近息子が先立ち、気分が滅入

り筆をとる気力がなく勝手申しますが寄稿できませんのでご容赦下さい。会長様始め皆々様のご高配に感謝申し上げます。（本人の代筆 小林 仁司）



## 同窓会に想う

甲賀支部 第7期 園芸学科 橋本清一郎

老大同窓会育成功労を受賞して早や10数年、支部発足当時を反省、今日の隆盛を喜ぶ一人であります。7期生が中心となり120余名で作った大麓(N8)自主活動の編集誌を大切に保存し時折眺めては当時を回顧しています。原稿づくり編集作業等全校あげての協力と苦労の成果をこの特集の形にすることが出来て老大的沿革に特筆して置きたい慶事となりました。(昭和63年3月

発刊)。又、同期園芸科を習得した有志20数名が七園会を発足県下各地から集っている老大学生と言う特賞と生し地域社会に寄与しようと分散しているふる郷を尋ね歩き懇親を兼ねての自己研修には恩師の辻先生をお招きし他府県まで遠征し旧交を温め合う楽しい旅行の数々等は、いつまでも忘れ難い思い出に浸っています。

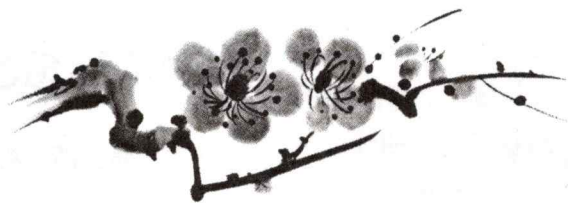


## 長寿の慶祝を受けて

甲賀支部 第7期 園芸学科 中沼 宗寿

この度レイ大同窓会においてめでたくも長寿の慶祝を受け誠にありがたく存じております。世情の著しい変化の中で知らず知らずのうちに皆様のお蔭をもちましてここにめでたくも米寿という年の節目にならせて頂きました。今ここで自分を振り返ってみるにこのお蔭は言わず語らず恩師の方々のなみ

なみならぬ賜と感謝をせざるを得ません。レイ大創設以来第7期園芸科に入学させてもらって以来、ここに恩師辻与左栄門先生の思い出を忘れることは出来ません。今は亡き先生のご冥福をお祈りせざるを得ません。今後益々レイ大同窓会の発展することをご祈念いたしまして合掌。





## 花さかそう 87の春の夢

甲賀支部 第19期 文芸学科 山本ミツ子

この度は米寿のお祝いを戴き暑く御礼申し上げます。縁あってレイ大19期生として入学させていただきました。ラッキーだったのは、甲賀で長く校長を勤められた黄瀬毅一先生の車に便乗させていただいたことです。

卒業後は大津文芸会館に移り、お世話になった中川いさお先生が亡くなりましたが、批評し合って充実した句

会になりました。冊子を作って下さる達人、表紙・題字・前書き等いろいろ分担して、卒業時と同じ句集・第2号発刊の運びとなりました。10月19日の同窓会には東西から集まる笑顔の出会いが楽しみです。文芸会館での句会が何よりも楽しみです。

花さかそう 87の 春の夢



## 毎日を大切に趣味に生きる

近江八幡支部 第7期 生活科学学科 安達 光荣

この度は米寿の御祝をいただき有難うございました。私は若いときは体が弱く病気がちでしたのに年をとりましてより病気もせず元気で暮らさせていただき有難く思っております。これからも一日一日を大切にしていって残り少ない

人生を過ごして行きたいと願っております。今日この頃では20年前より教えていただいております、つまみ手芸を続けて、週一回は、先生宅に寄せていただき続けて居ります。作品も変わったものが出来楽しみです。



## 戦争の回想と戦友への思い

近江八幡支部 第8期 文芸学科 小川 常三

戦争中のビルマの山中での事。1月程以前タイメン鉄道で移動中に、マラリアに冒されて、大隊兵員500名の中で、作業の出来る要員は3分1を切っていた。私の小隊は5人の分隊長と共に60名編成で任務についていたが、マラリアの猛威になすすべもなく、遂に2人の分隊長を死に至らしめた。

その妻も子もある働き盛りの男を、

森の中に薪を積んで茶毘にふした。煙が白く雨中の森に漂い、溢れる涙が兵士の顔に光っていた。

私はその森で焼かれた人達の顔も名前も今もって忘れる事が出来ない。申し訳ない事で思い出す度に胸が痛くなる。父よりも母よりも妻よりも、その悲しみは大きい。それは「仕方がない死」ではなかったからである。



## 心に張り合いと生き甲斐を

中部支部 第10期 園芸学科 園田九二男

知らず知らずの間に年を重ねて88歳の年を迎え今年のレイ大同窓会で長寿者として米寿の慶祝を受けました。今日迄長生き出来た事は周りの人の御恩と神佛の御加護のお蔭と感謝しております。

若い時、兵隊で比島やニューギニアに参戦して飢えや熱病に悩まされながら苛烈な戦闘を耐えて来ました。今で

も海外では紛争や飢餓で苦しむ人が沢山います。日本は平和で豊かさを享受していますが、この繁栄が続く様に過去を戒める努力が大事と思っています。

心に張り合いと生き甲斐のある暮らしをするように努め残された人生を有意義に過ごし丈夫で長生き出来るようにしたいと念願致しております。ありがとうございました。



## 自戒の日々を生きる

中部支部 第11期 文芸学科 寺本 寿子

恵まれて 卒寿の峰を  
指呼にみる (冠句)  
28年間の勤務を終え、民生委員、団

体役員、奉仕活動、孫の世話等の傍らの趣味の道 (謡曲・詩吟・冠句・俳画・ゲートボール) も歩み、充実感溢れる

悔いのない日々を送らせて頂きました。

今後は、谷川が自然に身を委ね、岩や木の根の間をさらさらと流れ流れて、大海を目指すように、一入自我を折り畳み、大らかに、穏やかに、自戒の日々を生かさせて頂き、晩秋になると真っ

赤に燃え尽きて、ひらひらと音もなく、地に還って行く、あの紅葉あやかに肖りたいものと念じて居ります。後になりましたが「長寿慶祝受賞」ありがとうございました。



## 洋上セミナーの思い出

湖北支部 第11期 文芸学科 田中 茂

平成4年11月25日から27日まで実施されました、滋賀県高齢者洋上セミナー「レイカディアの船」に参加しました事が忘れ得ぬ思い出となっています。高齢者が船上で、各種のセミナーや共同生活を通じての自己研鑽に励み、多くの仲間との交流を深めることにより、生きがいつくりや、社会参加の促進、地域のリーダーとしての素質の向上を

図ることを目的として実施され、これを通じて多くの方々との出会い、語らい、学び合いの中で新たな人とのつながり、仲間が生まれました。そして健康に恵まれ、地域学芸員や、自然観察指導員として、各地の人々と、出会い、語らい、学び合いが出来る事が喜びで一杯です。米寿のお祝いありがとうございました。合掌。



## 自分の事は自分で

湖北支部 第11期 文芸学科 笹原 光子

平成20年度の総会にお招きにあずかり、お祝いまでいただき、ありがとうございました。総会後の「達者で百まで」のお話、その意気込みでガンバリたいと願い自分のことは自分で出来る限り出来ます様に神佛に感謝して暮らした

いと思います。

雨の中、西尾さんに送って頂き、帰りは副会長の戸之洞さんに長浜迄連れて帰って頂き皆々様に御親切にして頂きまして有難う御座いました。

主人を亡くして悲観していた私を、



娘や婿が比叡山の頂上のガーデンミュージアム迄車で登り、下界を見下ろすと青い湖の向かいに京都の町並み、途中の山々には紅葉した眞赤なカエデや

黄色や緑、黄昏に向かいグラデーシヨンの美しさは心洗われる思いで感謝していた事を瀬田の車窓より西方を眺めて彷彿と思い出しておりました。



## 戦時の思い出

湖北支部 第11期 園芸学科 大比叡留次

昭和激動のなか、臨時招集兵として京都の自動車隊に入隊し、短期の訓練だけで、中国大地の戦場に立った。

操縦する自動車は迷彩色のフォード、八気筒のアメリカ産で、馬力があるので山岳地、沁県を中心に、爆薬・兵器・食糧の輸送が任務であった。段村より操縦中、山道を降りてきた時、後続車が敵の銃撃を受けているのではないか、

これは危いと思い隠蔽されるどころへ突込み停止、荷台の兵員と共に下車し小高い丘に駆け上がると丁度敵約30名の側背に出て伏射したところ敵はバタバタと倒れ死体を残して敗走した。この戦いは敵の側背に出たのが勝利のすべてであった。この時射撃の名手・船越上等兵の活躍が目立った。戦争を無くし平和の世界を築こう。



## 忘れ得ぬ思い出

湖北支部 第12期 園芸学科 北村 憲一

起死回生の喜びとでも言うべきか。私はボルネオで終戦を迎え、翌年4月まで、1日千秋の想いで帰国の日を待つ抑留所生活を送ったのであった。

そんなある日、「オーイ船が来たぞー」と言う戦友の声に、部屋を飛び出し、海の見える高台へ登った。今、あの島の向うだ、とのことで、かたずを飲む

思いで見守るうちに、やがて島隠から、島が動くかと思われるような、巨大な航空母艦がニューと姿を現して来た。「ウワーッ、あれに乗って帰れるのだ」と思ったその喜びと嬉しさは、到底筆舌に尽し難いもので、その時の光景は今もなお脳裏に焼き付き、終生、忘れ得ぬ思い出となっているのである。



## 米寿を迎えて

湖北支部 第14期 文芸学科 辻 その

思いがけなく長寿のお祝を頂き有難うございました。平成4年入学させて頂き2年間主人と共に電車通学でした。若返った気分です皆出席でした。小西先生に短歌を教えて頂き今も（万年青）会にて12人が月一回会う日が楽しみです。書道の先生は亡くなりましたが、やさしく大きな字を書くのが楽しみでした。

好きなグラウンドゴルフも20年余りやりましたが今は膝が痛く休んでおります。

レイ大の同窓会より県大会に近江八幡と高島と2回出して頂きいい思い出です。膝が痛くても認知症にならないように短歌と俳句を頑張って作っています。

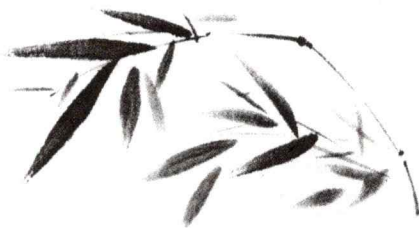


## 冷や汗もいろいろ

湖北支部 第14期 文芸学科 間所 守

平成10年11月末日の事である。いつもの通り神社へ。一寸変だと思って神饌所の障子を開ける。これはどうじゃ！異臭、天井、襖、部屋中油煙で真黒である。畳はグチャグチャ、ストーブの周りには一升瓶の空、瓶が7本転がっている。その側に目だけキラキラ、顔は真黒の犯人がいる。恐らくストーブを点火する時に、何か手違いがあった

らしく、大きな焔が出たことが伺える。そして、それにお酒をかけたからたまらない。然し消す為に懸命に酒でかけて消してくれた事は有難い。そのまま逃げて了えばそれまで、どうなっているかは想像するだけに恐ろしい。酒好きな泥棒さん有難うと御礼を言いたいが複雑な気持ちである。大事故が想定され冷汗、背を伝う思い出の一端也。





## 私の青春時代

湖北支部 第14期 園芸学科 辻 清治

私も何時の間にか米寿の年齢に達して先般レイ大同窓会より米寿のお祝を頂き、誠に有難う御座いました。

私達の青春時代は、戦争体制下で統制配給で苦しい時、自分の定職、食料品店も苦しい時でしたので父にまかせて、京都の軍事工場に就職し一年後に徴兵検査で第二乙種決定クジ5番と決定通知を受け後、第一補充兵に編入し現役

兵より早く招集すると言われ足どめ通知をされていたのに招集が延びて昭和20年4月10日浜松飛行隊に入営し輸送船の話聞かされ命もこれまでと覚悟すると2、3日過ぎて埼玉県の山に、変更成り、山で防空壕を造る仕事でした。終戦にて16日午後4時に長浜駅に到着す。これで親孝行が出来ると思い、神佛のおかげと感謝している次第です。

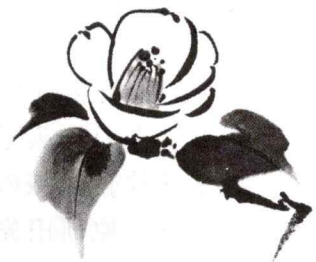


## 丁寧に時を過ごしたい

湖北支部 第14期 スポレク学科 西田 清納

8月生まれの夏が大好きな私も、今年の暑さにはほとんど弱っている毎日です。かわいい庭木や畑の野菜に水やりをすることが一日の大切な用事になっています。先日から町内の老人クラブや長浜市社協、そしてレイ大同窓会から米寿を祝っていただきまして、ありがとうございます。また、娘夫婦息子夫婦と孫全員が揃った食事会では、

ゆったりとなごやかな時間を過ごすことが出来ました。年々、体力や思考の低下を自分で感じてはいますが、テキパキと出来なくなった分、丁寧に、穏やかに時を送っていかうとしています。酷暑でしおれた植木に、次の日の朝、そっと咲いた花から不思議な力をいただいています。



## 近 況

湖北支部 第17期 生活科学学科 石野 綾子

この度は米寿の御祝をいただきましてありがとうございます。仏様にお供えいたしました。米原市地域支援事業「こころ」に入れてもらい毎週木曜日に元気に寄せてもらい今の所、自分

の事はおかげさまで出来ますので喜んでおります。

今度はほんとうにありがとうございました。



## 米寿を迎えて

高島支部 第4期 文芸学科 森 三郎

思い出せば28年前昭和58年11月文芸科学学科の卒業を許された。クラスで一番若かった事を記憶して居る。当時、今は亡き元県議員の肩書きを持つ方と懇意にして頂き学業以外に多くの社会学を学び得た事は今もって感謝して居る。現在は結構で米寿を迎える感謝の毎日を送って居ます。

多くの亡き友人の為にも残る人生を健康に有意義に生かされたいと願っている。この事が遺された者にとって社会に報いる事だと信じて居る。

俳句

つつましく老いたし汗をかきみたし  
梅雨深し今宵酔う歩は米寿の身  
梅雨陰し湖に屹立朱の鳥居



## レイ大での学びに感謝

高島支部 第9期 文芸学科 中島 捨雄

私は昭和61年第9期生として130名の入学生で、文芸科へ入学させて戴きました。皇子丘校長退職の片岡徳夫先生、書については三原研田先生、俳句では

大津絹織の藤本映湖先生。教室は県庁前のビル5階4階の時もあり警察官舎を眺めて一句作りなさいと言われた事もありました。卒業旅行は瀬戸大橋を

渡って閑谷学校見学で、写真ブックと共に大きな思い出の一つです。あれから21年の月日が流れ24名が14名となり諸業無常の今はこの頃であり、変わり行く現代についても、レイカディアの組織に活躍

されている方に感謝の念を以て極力行事に参加し健康で趣味に向かって過ごしていただけることを祈って止みません。



## 余生の生きがい

高島支部 第11期 生活科学学科 杉浦 薫

この度は、長寿慶祝の賞を頂戴致し誠に有難度う御座いました。日頃の健康な身体であればこそ地域の集会や皆様とのクラブ活動に魅せられて、役員様方お熱心なご指導のもとに厚く癒されて、笑顔をかかわして、お話に花が咲き、楽しい日々を過ごして居ります。レイ大に通学致しました頃の友情は、いつまでも懐かしくて、楽しかった。

(23名)のクラス仲間との数々の思い

出を心の糧としまして、11期生の皆様との出会い、机を共にした2年間を結ばれた絆こそは、私の一生の宝物として余す処の人生の生きがいとして、今後健康に気をつけて「朝に礼拝夕べに感謝」の心を離さず日暮し致します。レイ大同窓会の益々の御発展と皆様方の御健康を心よりお祈り致します。

「癒されて佛の加護に老いの身や」



## 戦争の苦い思い出

高島支部 第13期 園芸学科 岡田 順治

米寿の祝いをいただき、ありがとうございました。私は昭和21年東南アジアより復員。わが家では長兄が戦死、次兄がシベリアで抑留、栄養失調症で復員後戦争起因による病気で死亡。二

人の弟の一人は陸上少年戦車兵を志望。もう一人は予科練に憧れて、いずれも復員後戦争起因による病気で死亡。終戦で苦しみ疲れはてている時、農地改革で所有農地が4町歩余りが買収され

たり、財産税が課税される憂き目に遭う等、このような苦い試練に奪起。これが私の大きなバネとなって公務員40年、団体職員7年を務め挙げ、今は老人会

の集いやクラブ活動に進んで入り陶芸盆栽に励み、音楽が好きでハーモニカ吹奏。最近ではピアノを弾いて内面の充実に心がけています。



## 一日一日を大切に

高島支部 第14期 文芸学科 足立 捨松

この度は、米寿のお祝いを戴き誠にありがとうございました。今日まで長生きできましたことが不思議なくらいですが、これも皆様のおかげさまであると心より感謝しております。

私は、平成5年卒で、2年の間皆出席で元気に楽しく学ばせていただきましたが、翌平成6年に脳内出血で倒れてしま

いました。左半身麻痺になったものの、幸い2ヶ月の病院生活の後に退院することができました。今も体はままなりません、畑仕事はできるようになり、野菜づくりを日課としながら今日に至っております。

老大で多くの皆様よりいただきましたご恩に報いるためにも、一日一日を大切に生きていきたいと思ひます。

本年度の長寿慶祝受賞者のうち、6名の方からは諸事情で原稿が頂戴できませんでした。お名前のみご紹介します。

支部	氏名	学科	卒期
甲 賀	村田とし枝	陶 芸	14期
近江八幡	菊井 元章	園 芸	10期
近江八幡	中川 ます	園 芸	8期
中 部	浅原ツタエ	生 活	11期
中 部	谷口 いよ	生 活	13期
湖 北	堀田 肇	スポレク	11期



# 各支部の活動

## 大津支部

## 大津支部のグッドニュース

暗いニュースが多い中、自他共に元気になることを願って、大津支部の「グッドニュース」をお届けします。お陰さまで、大津支部は賑やかで、元気な年を送っています。

幾つかの事例をあげますと、「ボランティア部」が旗振りをし、10月8日の大津祭りのボランティア活動で、昨年に続いて、7名が参加し、350年余の歴史ある「狸々山」の山車を曳き、伝統ある行事に直接ふれる貴重な体験ができ、汗と共にさわやかな感動を味わいました。

「健康部」も「ディスコン」の地域持ち回り方式が定着し、今年は更に、3支部合同のディスコン大会にも参加しました。「研修部」も「公共施設見学バスセミナー」を抽選で引当て、葛川少年自然の家、歴史博物館などでの充実した研修をし、研修旅行も絶景の白山スーパー林道中心に盛会裏に無事実施できました。「文化部」の各サークルの活動も定着し、10月18日に大津港前広場で行われた「大津生涯学習フェスティバル」にマジックサークルも出演し、日ごろの研修の成果を披露できました。広報部も「かけはし」の大衆化とデジタル化を中心に地道な改善に取り組んでいます。

また、恒例になりました、支部新年会も小田氏を中心に、各地域より担当委員を出し、5人で楽しい実施計画を練っており、これも期待できそうです。

運営面でも、通常の役員会の前に実施する「執行役員会」も、3年目を迎え、食事会を含む特別執行役員会も6月に実施し、より本音の議論にせまりました。また、3年目の事務局長もその事務処理の能力に磨きをかけ、今年度改定した会則の精神を踏まえ、より充実した、支部運営に力を発揮し続けています。そして、9月には近年最高の多彩な新会員32名を迎え、10月10日に歓迎会を生涯学習センターに会場を移し、パワーポイントを使つての支部のPRをさせてもらいました。「あなたのあたらしい力で、同窓会活動に新風を吹かせて下さることを強く期待しています。率直なご提言、そして、あなたの得意技を少し出していただき、支部そして、あなたの地域の社会福祉への貢献を条件の許す範囲で、ごいっしょしましょう。」とお願いしました。



公共施設見学バスセミナー：7月18日



生涯学習センターにて新会員歓迎会：10月10日



草津校にて3支部交流ディスコン大会：9月25日



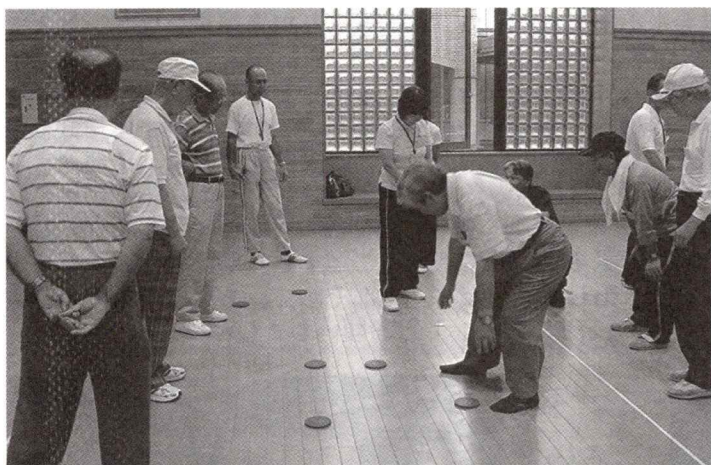
生涯学習フェスティバルでのマジックショー：10月18日

## 草津・栗東支部

### ●支部グラウンドゴルフ大会

5月21日、9月17日に弾正公園で開催。

2大会による成績で支部交流グラウンドゴルフの選手を選出。10月16日の支部交流グラウンドゴルフ大会で優勝を果たした。



### ●ディスコン支部交流会

9月25日、大津、守山・野洲、草津・栗東3支部によるディスコンをレイカディア大学草津校・体育館で開催。館内に何度も大きな歓声が響き渡る楽しい時を過ごす。参加者の元気な姿を見て感銘を受けました。

### ●【29期】 新入会員歓迎懇談会の開催

10月15日、新入会員と理事の紹介、行事説明、懇談会を行い和やかな雰囲気の中で忌憚のない意見交換をする。





# 守山・野洲支部

作品展 3月6日 ~10日	概要 守山市立図書館 来場者241名 出品者47人4団体出品数118点
	特記 ①ボランティア活動写真展示 ②来場者に、陶磁「箸置」、アクリル製「タワシ」計300点を配布、何れも支部会員の手作り品で無償提供



来場者絶賛



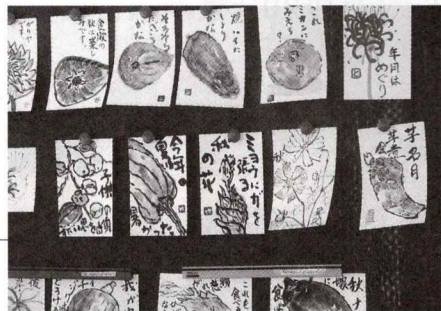
プロ顔負けの傑作

作品展を終えて、「ご苦労さん



みんな真剣

絵手紙 教室 毎月1回	概要 あじさい園 参加者7~10名 講師 支部会員 一般参加OK
	特記 支部行事に参加出来ない先輩会員に7月、12月に絵手紙によるご機嫌伺いの発信。



活動事例 発表 2月7日  発表者 第27期園芸 清水春雄氏	来期より支部活動事例発表会が予定されており、それに先立ち常任理事会席上開催された。 発表要旨
	(1)地域奉仕活動 (GAGグループの剪定リーダー) 葉ぼたんを使っての門松作り...公共施設へ寄贈 選定作業...石田デイサービス、守山学園他 (2)レイカグリーン27 (第27期 園芸学科) レイ大在学中より引き続き定期剪定ボランティア浄厳院 (安土) 野間邸 (近江八幡) (3)菊作りを通じての生きがい活動 吉身小菊盆栽教室開校、菊作り、展示、発表会を通し生きがい作りに励む (4)失敗事例...野洲川河川敷の土地を無償貸与を受け観光果樹園 (栗) 作りを目指す資金、年齢が、ネックになり、断念

よく出来ました...



きれいな礼状を頂き  
生徒感激!  
反対に元気を頂きました



活動中の清水さん



発表を終えて

## 甲賀支部

### 1. 「平成20年度甲賀支部定期総会」

4月13日 甲賀市水口中央公民館で開催  
講話「甲賀の仏教文化」講師 小川利彦先生

### 2. 「郷土の巨木・銘木を訪ねて」

5月15日 甲賀市水口町・湖南省旧甲西・石部地区探訪18名参加

### 3. 「甲賀支部会員グランドゴルフ大会」 (第1回)

7月4日 土山町・かもしか荘GG場 34名参加

### 4. 「甲賀支部会員グランドゴルフ大会」 (第2回)

9月12日 湖南省・親水公園GG場 28名参加

### 5. 「守山・野洲支部との交流GG大会」

10月3日 守山市・立入河川敷GG場 8名参加

### 6. 「平成20年度新入会員歓迎会」

10月11日 甲南町・「忍の里プララ」35名参加

### 7. 「平成20年度趣味の作品展」

10月11日～12日 甲南町・「忍の里プララ」30名出展

### 8. 「一日研修旅行」43名参加

10月21日 郡上八幡

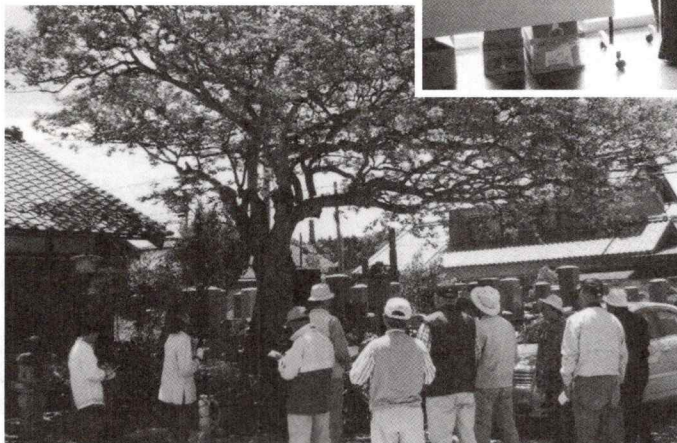
「趣味の作品展」 甲南町・忍の里プララ

### 9. 「支部交流グランドゴルフ大会」

10月16日 栗東市・野洲川河川敷GG場

### 10. 「甲賀支部だより」 (第8号) 発行

3月1日



「郷土の巨木・銘木を訪ねて」水口町・修善寺(サルスベリ)

## 近江八幡支部

### ☆支部グラウンドゴルフ大会

7月10日と9月27日2回グラウンドゴルフ大会開催

会場 近江八幡市何合GG場。

第1回目快晴参加者40名

第2回目参加者26名。第2回目は雨にて順延した為参加者大幅減となった。

本部大会出場選手7名選考。10月16日本部大会では健闘空しく8位となる。



### ☆第29期生新入会員歓迎会

9月24日ひまわり館研修室

新入会員16名を始め(3名欠)

支部役員等48名の参加を得て開催。支部役員の紹介新入会員

紹介の後、意見交換を行った。

新入会員の自己紹介では、多岐に亘る活動が報告され持ち時間不足となり司会者が慌てる一幕も。新入会員に祝品として洋菓子を進呈、今後の活躍を祈念した。



### ☆作品展開催 10月2日～4日

ひまわり館1Fホール。作品出展者47名。出展作品数110点。鑑賞者169名。

会場は力作揃いの展示で昨年にも増しての鑑賞者で賑わい、旧交を温める場面が多く見られた。2日にZTVの取材があり3日夜放映された。



### ☆一日研修旅行 10月30日源氏物語千年紀

にちなみ、宇治平等院を見学。古都文化の息吹を感じたのち、源氏物語ミュージアムを見学した。研修と共に懇親を深め有意義な一日であった。宇治平等院見学、参加者37名。



▲昨年の手芸教室風景



▼20年3月ニュースポーツ大会のワンショット

### 今後の予定

11月10日 近江八幡、中部、湖東、三支部交流GG大会

11月中旬 支部会報第27号 発行360部

11月27日 文化講座  
テーマ 八幡の祭り

12月12日 手芸教室  
テーマ クリスマスプレゼントにマフラー編み

21年3月 ニュースポーツ大会

## 中部支部

4月22日(木)

平成20年度支部総会東近江市社会福祉センター(延命荘にて)

- 総会后、新役員9名打合せ会
- アトラクション 認知症いきいき支援隊(永源寺学区グループ6名)

お話しと実演会



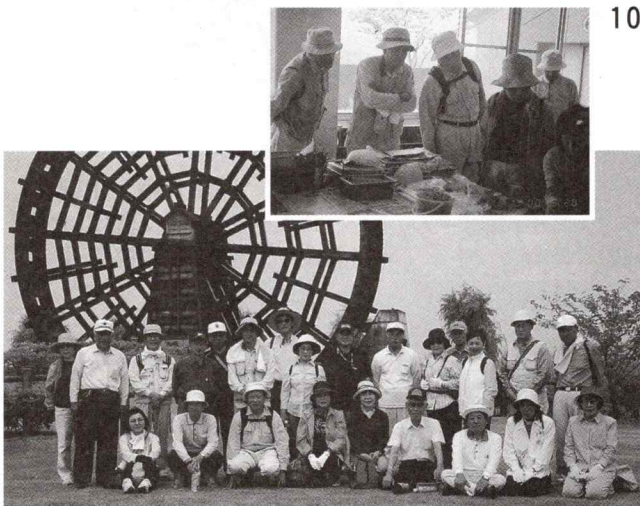
5月7日(木)

第1回理事会(延命荘にて)

- (1) 歩こう会の件、協議打合せ
  - 能登川地区内8kmを歩く
- (2) その他、報告事項

5月28日(水)

晴天、能登川支所前一市立博物館及び埋蔵センター—水車小屋公園(昼食)—支所前着8kmコース 参加者27名



7月7日(月)

第2回理事会(延命荘にて)

- (1) 広報(中部だより)発行の件
- (2) 支部G.G大会の件
- (3) その他、報告事項

7月24日(木)

支部三役員会 本間、矢野、奥居(安土町商工会館にて)

- (1) 広報(中部だより)19号編集会議

7月25日(金)

支部長・副支部長、印刷業者へ依頼する、8月25日発行日

8月22日(金)

広報(中部だより)19号、2回の校正を経て支部長に到着

8月23日(土)

各分会長に届ける

9月3日(水)

第3回理事会(延命荘にて)

- (1) 支部G.G大会の件
  - 9月19日日野町にて開催打合せ
- (2) その他、報告事項

9月19日(金)

支部G.G大会 日野町大谷運動公園、当日台風と大雨のため中止となる。

10月16日(木)

レイ大本部第9回支部交流G.G大会  
野洲川運動公園  
中部支部より7名参加 3位入賞  
青木寛氏個人優勝

10月20日(月)

第4回理事会(延命荘にて)

- (1) 支部日帰りバスツアーの件  
実施日11月4日(火)  
行き先 トヨタ自動車工場見学と  
中部国際空港「セントレア」  
参加者41名

◆ 作品展

**湖東支部**

◆ 平成20年度定期総会

ディア大学同窓会湖東支部定期総会



▲ 門馬三郎さんの講演

5月8日、彦根勤労福祉会館で定期総会を開催。役員交代の年に当たり、総会・講演・懇親会を終え、前期役員さんの敷かれたレールに乗っかり、一年のスタートと成りました。



▲ 会場風景

7月4～6日、彦根市民会館ギャラリーで開催。出展者50名、書・絵画・写真・手工芸・盆栽・陶芸・短歌・俳句と60点の力作の展示。



▲ レイカース28による銭太鼓

◆ グラウンドゴルフ大会

9月25日、快晴の甲良町運動公園に46名が集合。新会員からベテランまで楽しくプレイ。優勝は小林多喜雄さんでした。この日の上位入賞者7名で編成した代表チームは、9月16日の支部交流大会に出場。連続優勝のプレッシャーか？残念乍ら入賞を逃しました。

◆ 新会員歓迎懇親会

9月19日、甲良町一休庵にて。今年の新入会員19名（内13名）出席のもと総勢55名で、新会員・役員を紹介の後、先輩の28期同窓生による熱演で会場の雰囲気盛り上げて頂き、会食・懇談となごやかに交流をはかりました。



▲ 和やかにプレーを楽しみました



◆ 紫式部ゆかりの地を訪ねる旅

10月30日、好天にめぐまれ39名が源氏物語1000年紀に因み、石山寺、平等院へ初の研修バス旅行を実施、平安貴族の世界をチョッピリと味わいながら、偶然にも近江八幡支部御一行と合流、源氏物語ミュージアムのシアターでは、両支部同窓会で貸切り状態。交友を深めながら楽しく研修を終えました。

◀ 平等院鳳凰堂前にて

## 湖北支部

### ◆地域活動事例発表会

9月11日、レイ大米原校で本部主催の第1回地域活動事例発表会（前期4支部）が開催され、当支部からは『湖北ダンス研究会の活動』について、クラブの歴史、目的、組織及び事業活動について、23期生の中嶋貞吉、樋口由紀子の両氏が代表して発表された。当支部会員の出席者は45名、全出席者数は凡そ110名の盛況でした。



### ◆第9回支部会員交流G・G大会

9月16日、富永ラブリバーG・G場に会員99名（29期生9名）が集い、新会員の紹介に続いて10月の支部交流大会の出場選手選考を兼ねた熱戦を展開、好天に恵まれ和やかで楽しいひと時を過ごした。今回の最小スコアは男女とも新会員でした。



### ◆ダンスの集い

10月8日、湖北ダンス研究会加盟の10クラブが、毎年1回実施している「ダンスの集い」が湖北町の体育館で行われた（事例発表会で報告）参加会員は約300名で皆さんが笑顔で楽しく、綺麗な衣装で各クラブの日頃の練習の成果を披露され、最高年齢92歳の会員は来年も参加したいと言われた。

### ◆日帰り研修旅行

10月10日、紙の文化博物館で紙漉き体験と永平寺参拝の研修旅行を実施、参加者は45名（うち29期生7名）でした。パピルス館で指導員の説明を受けて全員で思い思いの色紙作りに挑戦、次回の作品展にはこの色紙を使って出展される事でしょう。このあと永平寺に参拝、午後は恐竜博物館で骨格模型や映像による恐竜のスケールの大きさを体験し、一乗谷朝倉遺跡では復元町並みを見学した。感性を刺激して頭を耕し、そして心を癒してくれることを実感した一日でした。



## 高島支部

### 《20年度総会・懇親会》

5月17日（土）参加者25名。  
総会后恒例の懇親会。会費4,000円。  
お酒を酌み交わし和やかに歓談。



### 《新会員歓迎会》

9月24日（水）グラウンドゴルフで爽やかな汗を流した後、22名参加で行いました。レイ大の思い出や近況報告等いろいろと歓談。参加費は1,500円（新会員は無料）



### 《第2回作品展》

2月29日～3月1日の3日間昨年同様新旭町のコミセン「ほおじろ荘」で開催。出展者数延べ59名。出店数139点。昨年同様力作、秀作がそろいました。



### 《グラウンドゴルフ大会》

9月24日（水）参加者22名で初めて20名をこえる。爽やかな秋晴れのもと仲良くにぎやかにプレー。

優勝は高島の増尾和博さん（21期園芸）、準優勝は安曇川の白藤喜代治さん（24期生活）第3位は高島の池田邦治さん（20期文芸）。



### 《1日研修会》

10月28日（火）行く先は甲賀のミホミュウジウム、信楽の陶芸の森。参加者25名。参加費3,000円。深み行く秋をたんのう。



# 2008年 各支部の活動—そのⅡ

各支部の広報活動の状況

平成20年10月調査

支 部	機関誌名称	発行回数 (回/年)	発行部数 ページ数	発行経費 円/部	会員以外 の配布先	主な掲載内容
大 津	かけはし	3 回	300部 20～34P	35	市関係部 市社協 市老ク連	活動報告 活動内容 会員寄稿
草津・栗東	かわらばん	6 回	230部 4 P	8	レイ大草津 掲示板	2月先の行事 案内 会員手記
守山・野洲	守山・野洲 支部情報	2 回	150部 2 P	3	作品展で 配布	活動予定、報告
甲 賀	甲賀支部 だより	1 回	200部10P	180	他支部	活動状況 新入会歓迎会 G.G、寄稿
近江八幡	会報	1 回	360部 約70P	765	在校生 行政機関 協賛企業	事業報告、計画 長寿者の言葉 全会員の言葉 会員名簿
中 部	中部支部 だより	2 回	200部 8月：6 P 2月：8 P	150	市関係部 各分会	活動報告 活動予定 新入会員紹介 訃報、寄稿
湖 東	湖東支部 会報	2 回	300部 6～8 P	65	他支部	活動報告 活動予定 新入会員紹介 寄稿
湖 北	こほく かわら版	2 回	430部 4 P	40	他支部 在校生	総会 新会員紹介 活動状況 会員投稿記事
	会報こほく	1 回	430部55P	330		
高 島	レイ大 ミニ通信	5～6 回	90部 6～10P	20～30	市役所本庁 支所 社協	行事案内、報告 会員寄稿 文芸 訃報

- 調査結果評： ● 発行回数は年1回から年6回まで幅広い活動がみられる。  
 ● 年1回だが、広告入りの近江八幡支部はユニークな会報。  
 ● 大学の掲示板の活用、在校生への配布などを行っている支部がある。在校時からのPRは有効な広報活動。



# グループ紹介

レイ大卒業後も建学精神に沿い、「地域貢献で輝いている、グループの活動の状況」を特集しました。

## 知知知 景観は住民の資産である 知知知

大津支部 園芸学科 24期 市吉登美一

大津市は琵琶湖を中心に比叡山・三上山などを借景とした世界でも稀な景観都市といえます。今、その景観が失われようとしています。

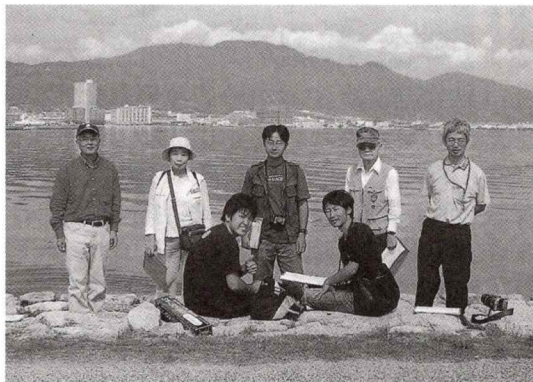
私は大津に移り住んで32年、退職後大津の環境保全に取り組んでいる「おおつ環境フォーラム」に入会し、副代表の笹谷先生（立命館大准教授：景観で博士号を取得）の指導で景観を切り口として「三つの大津創り」を進める【景観グループ】を立ち上げました。

一つは『住み続けたい大津』、二つは『紹介したい大津』、三つは『一度は訪れたい大津』創りです。

現場を知ることが一番と考え、景観ウォッチング（写真①）で、イチオシ景観・残念な景観をリストアップしました。将来の大津の『環境を考慮した景観とは…』を検討中です。

一方、景観保全は「住民の景観意識が決め手」であることから、欧米では常識である【景観は住民の資産である】事の意識啓発をするため景観出前講座（写真②）を進めています。

また、これらの推進は私達だけの活動では有効な成果が得にくいことから行政との協働にも取り組んでいます。



①景観ウォッチング（なぎさ公園）



②景観出前講座

大津市の環境保全団体「おおつ環境フォーラム」の景観グループが、子どもたちに景観について考えてもらう出前講座を計画している。ゲームの要素を取り入れ、楽しみながら景観の大切さを感じてもらおうと、出前講座を希望する学校や自治会を募っている。

（5208）2020へ。

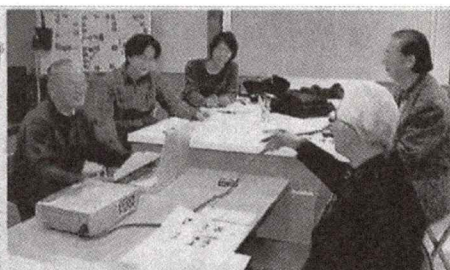
### 景観の大切さ 楽しく勉強

大津の団体 子どもらに出前講座

講座では、メンバーが講師になり、実際に市内の風景と、パソコンで加工して電柱を消した同じ風景の写真や、外国の町並みといった写真を見比べながら、景観への関心を高める。また、街頭へ出て、ビンゴゲームの数字の代わりに「山が見える風景」「大津らしい場所」など書かれた紙を手に、合致する風景を探す実習も行う計画だという。

グループリーダーの市吉登美一さんは「景観は長い年月をかけて形成されるもの。幼いころから、関心を持つことが大切で、ぜひ呼んでほしい」と話している。

問い合わせは、同フォーラム事務局077-52082020へ。



景観の大切さを教える出前講座の打ち合わせをするメンバーたち（大津市浜大津4丁目）

※景観ウォッチング：約4kmの街並みなどを歩いて数箇所で見学をします。

## 地域の歴史・地元の人々とともに作るたたら製鉄実験

大津支部 スポレク学科 25期 松田 文男

平成17～19年度は史跡源内峠遺跡で見つかった製鉄炉の復元作業を行ないましたが、20年度は滋賀県で取れる鉄鉱石で製鉄実験を行い、鉄作りの歴史及び瀬田地域の歴史について学び、古代人がどのようにして鉄鉱石で精錬をしたのか親子で体験。

文献によりますと、最初に人類が鉄に気づき、使ったりしたのは隕石。拾ってきて少し温度を上げて加工するこれが最初。そのうち、鉄鉱石から何とか鉄を作り出そうという努力をした。ポイントは鉄は酸化物ということ、酸素をどう鉄からはずすのか、古代人は酸素よりもっと魅力的な異性を用意した。その謎を実験で解き明かそうとするものです。

「鉄作り」をするための原料として鉄鉱石（砂鉄でも良い）は勿論のこと、溶鉱炉を築く粘土（耐火煉瓦）、そして1500℃もの炎を生み出す松炭とたたらが不可欠です。

このことから以下の手順で「鉄作り」の準備を源内峠遺跡委員会、構成メンバー23名（レイ大OB5名）立命館大学学生等ではじめています。

1. 鉄鉱石を探す。鉱物資源図で調べた範囲では高島市にありそうということは解った。県教委から高島市教育委員会に打診。幸いに平成18年高島市で「鉄作り」を実施したという話があり早速交流。平成20年3月メンバー15人を現地に案内していただく、はじめは半信半疑で磁石片手に探索。メンバーの一人が「アッター」との第一声。昔の採石跡が今でも生々しく残っていました。浜辺にもジャガイモ大の鉄鉱石が見つかり合計50kgの鉄鉱石を持ち帰り、県工業技術センターで成分分析を依頼。結果、なんと52～58%鉄分があると判明しました。
2. 5月鉄作り講習会。「鉄作り」について高島市教育委員会から講師を招き炉の組み方・炭の切り方や鉄鉱石と炭の投入について詳しく講義を受けた。頭では理解ができているが、少し不安が残るが一発勝負しかありません。というのはいりハーサルしているほど炭（松炭は市販されていないため特注）の余裕がないからです。
3. 6月炎天下で松炭を切る作業。先ず鉋で4等分に割り、3cmに竹きり鋸で細かくする。作業が進むにつれて顔や体が真っ黒になりながら20kgの松炭を約4時間かけて完了しました。メンバー10名
4. 7月鉄鉱石の粉碎を予定。
5. 10月いよいよ「鉄つくり」の本番予定。

日時 平成20年10月11日(土)午前9時30分～午後4時00分

雨天：10月25日(土)午前9時30分～午後4時00分

場所 一里山公園（瀬田東市民センター前）

内容 松炭きり・鉄鉱石粉碎・土器作り・鉄鉱石探し・ビデオ上映・松炭や砂鉄の投入体験をして松炭の火力のすごさを体験しよう。 以上

▶皆様も一度のぞきに来て下さい。



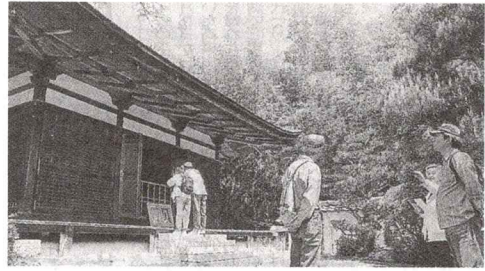
## 地元の遺産を守り語り伝える

草津・栗東支部 文芸学科 26期 中後佐和子

草津市が平成8年に、観光元年と銘打って草津宿本陣を一般公開し、烏丸半島に市立水生植物公園みずの森・県立琵琶湖博物館がオープンした時、ボランティアガイドとして活動開始しました。最初は終の棲家となった地域の歴史や文化を、少しでも知りたいと講習会を受講したのが始まりでしたが、やり始めると歴史は奥が深く、名所旧跡を訪れて下さる皆様の笑顔を見る喜びに、どっぷり漬かって10年以上が経ってしまいました。

レイカディア大学卒業生も仲間に多く、私も学びましたが知識取得の程は棚に上げて、人脈の広がりは大変な財産になりました。卒業後の活動の場にと同級生の園芸科に声を掛け、平成16年国史跡に指定された芦浦観音寺境内の剪定作業に、入って貰う交渉に成功しました。成行き上私も慣れない作業に付き合っていますが、お陰で2学科に通じ友人が増えました。

また、ガイド協会主催の芦浦観音寺年2回の一般公開は、以前は事前に一度掃除に入るのが精一杯でした。最近は「グリンスターズ26」が毎月剪定作業や消毒・肥料やり・草刈まで行っており、庭木が随分整ってきました。見通しもよくなって、境内を



一般公開された芦浦観音寺で、境内を見て廻る観光客ら

隅々まで歩けるようになり、観光客にも「綺麗ですね」「前と比べものにならない」とお誉めの言葉を掛けてもらえるようになって、ガイド仲間全員喜びが倍増したと喜んでます。

「文化財や遺跡を大切に」とはよく言われることですが、落書き・盗難・放火と嘆かわしい事件が後を断ちません。私達の役目は、財政難で保存や整備が充分に行き届かない、目も届かない地元の文化財を、熟年パワーで守っていく事が出来れば、素晴らしいことだと思います。

また、立派な建物・文化財・歴史が身近にあっても、知らない見たこともないと言う人が多く居ます。子供の頃から地域の歴史・文化の重要さ大切さを、語り継ぎ浸透させていくことが出来ればと思っています。

そのための知識を磨く場「レイカディア大学」が、充実され精神を次代に語り継いで行ける事を熱望しています。



芦浦観音寺前でのボランティアさん達

## レイ大アルカディア支部の紹介

草津・栗東支部 スポレク学科 26期 齋藤 和彦

### 1. 概要

車椅子レクダンス普及会は平成7年に設立（平成11年にNPO法人）されました。滋賀県では平成13年に現会長の吉原明さんが、設立。全国で322支部、約6,600人の養成会員がいます。平成17年にスポレク27期生の村木洋子さんがレイ大草津校支部を立ち上げ、その後卒業生を主体としたレイ大アルカディア支部を立ち上げ現在に至っています。

### 2. アルカディア支部（草津校支部も含め）

#### (1) 活動理念

本部の活動理念を継承しています。私達は高齢者や障害のある人達が健常者と同じように楽しめる社会環境を実現するために活動しています。車椅子を活用したレクダンスで一緒になって楽しめます。完全無償ボランティアを追求しており、私達が活動を通して得るのは感動だけです。



①ケアタウンからさき

#### (2) 活動経過

特別養護老人ホームなど（大津市～ケアタウンからさき・榛原の里、草津市～菖蒲の郷・ほぷら・常輝の里、野洲市～ぎおうの里）および障害者福祉センターなどで活動してきました。平成18年の全国大会（野洲市）でも大活躍し、平成19年には中主中学校生29人に車椅子レクダンスの実技と福祉に関わる心がまえを指導しました。

#### (3) 現在の活動状況

現在会員は24名（通算約40名）。各施設の要請で定期的、臨時的に訪問しています。その様子を説明しますと、No.1・2がケアタウンからさきを訪問した時の活動状況、No.3が最近訪問した「常輝の里」での活動の様子です。車椅子の方でも楽しんで頂けるこの車椅子レクダンスを今後も拡めて行きたいと思っています。皆様で、志のある方は是非ご参加下さい。大歓迎です。なお、詳細は次のホームページ「湖鳩庵」を参照下さい。

URL～<http://homepage3.nifty.com/ky2saito/rekukankei/rekukankei/rekukankei.htm>

以上



②ケアタウンからさき



③常輝の里

## 『こんなことやってます』

草津・栗東支部 生活科学学科 26期 谷口 岩人

平成18年4月12日に栗東霊仙寺に開所した「デイサービス桜」にてレイ大OB生活学科生を中心に活動しています。グループ名、グループリーダー等は有りません。各自がそれぞれのニーズにより、利用者の送迎、昼食作り、書道、詩吟、民謡、絵手紙、折り紙、ゲーム等をやっています。参加回数も月1回から7～8回ぐらい、時間も1日、10時から14時、14時から15時といろいろな時間帯で長続きする方法を見つけ、月の中旬に可能な参加日を申請します。

書道等はおそらく小・中学時代から50～70年ぶりに筆を持たれた利用者が多いのではないのでしょうか。中尾先輩（文芸22期）は丁寧に修正しながら褒めています。作品は2週間程室内に展示した後、それぞれが持ち帰ります。家族の方はおばあちゃん、おじいちゃんがこの年で書道をやったと喜んでおられます。

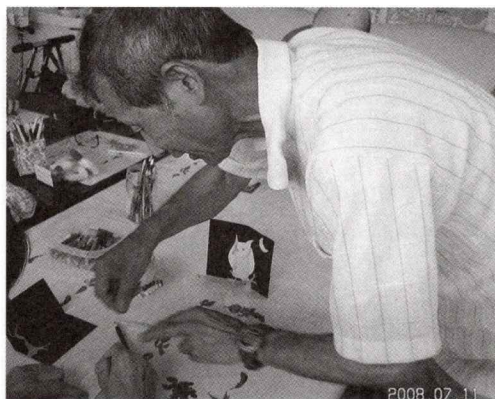
絵手紙では桜ホームから家族宛に各自が発送しました。民謡は自分達が子どもの頃に過ごした地方が懐かしい思い出となり、我が滋賀県は「琵琶湖周航の歌」となります。オカリナ等使った多くの歌の時間が有りますが、利用者の多くは歌集が無くても歌う事ができます。

昼食作りではメニューはスタッフが作ります。ボランティアの家族は2～5名ですが、桜では10～20名となる日があります。また初めてのメニューも、利用者にあった食物の大きさに作り、作り始めから配膳までのタイミング、毎日の食後に残り物の有無の気掛かり等、多くの苦勞が有ります。スタッフから利用者がいつも「うまい」と言って食事をしていきますよと伝えられます。心良い一日です。

利用者により毎日いろいろなアクティビティをやってもらいますが、健康上完成までに至らない方が有ります。完成の喜びを味わって戴くために我々男性も裁縫をやったり、ぬり絵をしたりしながら共に楽しんでおります。

一番嬉しい事は病氣等で利用者が来られなくなる事です。しかし、毎日帰られる時に「ありがとうございます。楽しかったです。次回来るのを楽しみにしています」と言われます。我々はこの言葉で幸を味わっています。喜びが一つ増えました。今年からレイ大の研修が始まり先日3名が桜に来られ昼食作り、話し相手、手作りの補助をされました。（計11名）

連絡先：谷口岩人 草津市草津町1911-2 TEL(562)-7358



川口さんのペーパークラフト



昼食作り(サバのみそ味) 右 重永さん 左 米田さん

## 守山シニアグループ うり坊の会

守山・野洲支部 スポレク学科 27期 代表 村中 治之

私達のグループ名は「うり坊の会」です。私自身はレイカディア大学を27期で卒業いたしました。そして「さあ、これから」としていた時、守山市社協主催のシニア対象の連続講座があり、これに参加いたしました。その時の受講生がその後集まって出来たのが私達のグループです。平成19年（亥）です。イノシシ年に出来たのですが、まだ子供です。猪の子のイメージから「うり坊の会」です。

### 「うり坊の会」

現在、14名の小さなグループです。

（レイ大卒業生3名、在校生1名含）

でも、遊びに、研修に、ボランティアにとそれぞれ楽しんでがんばっています。

### 「遊んでいます」

ゴルフ、グラウンドゴルフ、ストレッチ教室、ウォーキング、料理教室、そば打ち、

春は、わらび採り、三上山登山、野外バーベキュー、その他いろいろ  
秋には一泊の旅も計画しています。  
料理教室、そば打ちも熱心に行っています。

講師は仲間です。パソコンの先生も会員。

### 「学習しています」

守山の歴史、健康、環境、防災、パソコン、日々が勉強です。

### 「少しだけボランティアもしています」

会員は少数ですので定期的な事は

難しく、市や社協の要請で月平均4～5回は動いています。

### 「畑もやっています」

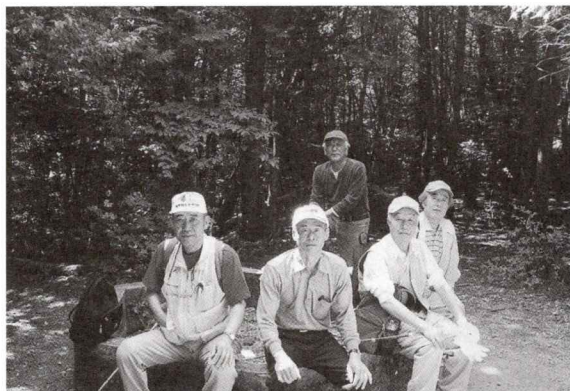
休耕地を借り受け、いも畑、そば畑を作り、苗を植え、そばの種を蒔き、秋の収穫を目指しています。穫れば市内の施設の人達と、いも料理、そば料理を楽しみたいのです。勿論、私達の手料理です。

### 「まだまだあります」

そば打ちは、守山市の出前講座に登録済です。都合よければ、市内何処にでも出かけます。

秋のスポレク2008にもボランティア参加しようかと相談中です。

これからも、皆で楽しむ事を見つけ出そうと「うり坊」キョロキョロしています。守山の皆さん、いらっしゃいませんか!! 毎月第1火曜日9時30分、守山すこやかセンター内 守山市社協に集合です。



織山でのわらび取り



近江カントリーでゴルフを楽しむ

## グリーンスターズ26の活動報告

守山・野洲支部 園芸学科 26期 赤井 達雄

レイ大卒業後、剪定技術を活かす活動を継続しようと結成したのがグリーンスターズ26です。現在、花緑公園を月2回、芦浦観音寺を月1回の都合月3回の活動をしている。花緑公園は里の家を拠点にその周辺を年間管理計画のもと、各種植木、梅園、県道沿いの長い垣根などの剪定、施肥などの管理をしている。レイ大の他のグループでは、28期生、20期生があるが、20期生グループは高齢化で会員数が減り、4月で200回の節目の活動回数を機に一応活動を停止された。

芦浦観音寺は江戸時代二重の堀に囲まれ28の僧坊を持つ県下一の大寺院であった。その後寺社奉行、湖上運搬船の取締まりなどの城郭的役割を果たしたが、現在は内堀だけの観音寺となり、庭園は1.1ha程度である。国、県、市の重要文化財20件を要し近江の正倉院と云われた。宝物は博物館に預けられている。そこの庭園管理を一切引き受けている。植木は中高木、低木が配置され特有の景観を呈している。春秋の一般公開に備え、藤棚の建設なども手がけた。グループの結束を図るため随時、海外旅行、懇親会、ハイキング、登山などを企画、今夏は富士登山を7月15、16日に実施した。その予備訓練も近くの山で3回実施した。今般、長寿社会開発センターが全国の老人大学が財政難のため廃止する県が増えてきたので、その歯止め策として全国の活動事例集を編集し、社会活動に奉仕していることをアピールすることになり、我がグループは全国4例のトップに取り上げられることになった。



京都嵐山へのハイキング

## 広がる善意の輪

守山・野洲支部 園芸学科 25期 三輪 章

平成十四年三月十六日、今まで顔も名前もお互いに知らなかった男達（守山市在住で六十歳以上）十六名が「守山市男性ボランティアの会」を結成した。

結成時のボランティア活動の第一歩は福祉施設の「環境整備」即ち、施設周辺の「草取り」からスタートした。現役時代あまりした事の無い「草取り」。「一人が抜いた一本の草」「十人が抜けば十本になる…」「十本抜けば百本になる…」こんなセリフをお互いに確認し合いながら、地面に落ちる汗を流していた。

そんなある日、独居老人宅の「庭の剪定」ボランティア要請が舞い込んできた。でも、誰も「剪定技術」を持っていない為、老婦人の期待に答える事が出来ず、技術を持たない単なる会社人間であった自分の姿に、一抹の虚しさを感じた。でも、結果としてこの虚しさが「レイ大園芸学科」の門を叩く事になり、恩師中村先生はじめ多くの学友達とのご縁が生まれた。

入学した私にとってレイ大は、「驚き・歓喜・希望」であった。「知らない事を知る」「出来なかった事が出来る」この喜び本当に楽しい充実したレイ大生活であった。

この驚き・歓喜・希望の体験をボランティアの仲間に熱く語り一人でも多くレイ大に入学する事を勧め続けた。その結果、二十六期・二十七期・二十八期…三十期とボランティアの仲間が次々と入学、そして卒業、守山市に善意のボランティアの輪を大きく広げる原動力となっている。

六十歳以上の男達で結成したボランティアグループ、新たに二つのグループが守山市に誕生した。

平成十八年に誕生した「ドリーム一八会」、猪年に誕生した「うりぼうの会」この会の運営の中核にレイ大卒業生が居る事を大変誇りに思っている。



福祉施設「環境整備」



ケアハウス庭園整備



独居老人生活支援（粗大ゴミ）



## はつらつ！スポレクOB達

甲賀支部 スポレク学科 23期 村上 幸一

飛び散る汗、熱気。広い体育館の中に渦巻く大人や子供達の歓声。ここ湖南省総合体育館は、スポーツを楽しむ人達の熱気があふれている。子供から老年の人迄、この日用意された球技を好きなように楽しんでいる。この日のメニューは、バドミントン・卓球・ソフトバレーボール・バドミントン等。参加者は自由に種目を選び、色々なメンバーの人と交流しながら競技を楽しんでいる。

今ブームになっている「運動不足の解消」「メタボ解消」の声に多くの人に関心を持ち、体を動かしたいという願望を強く持っている。その願いのお手伝いをしようと、平成20年2月に発足した「湖南省ちよいスポクラブ」湖南省の後援を受けて、旧石部町の石部雨山運動公園体育館と、旧甲西町の湖南省総合体育館で、日を分けて開催されている。

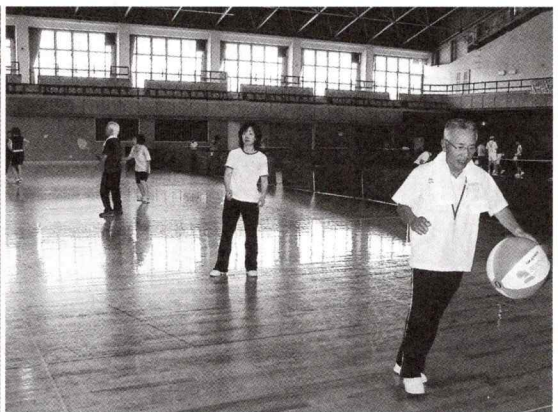
現在大きく花を開かせようとしている「湖南省ちよいスポクラブ」もレイ大OB、特にスポレク出身の方が運営に汗を流している。このクラブを立ち上げ、代表として活躍されている九条親道さん（スポレク28期）は、「2年前、スポレク出身者の有志一同とスタートしました。健康づくりを目的としながら、仲間の輪づくりを広げるため、メンバーが力を合わせて運営して行くのが狙いです。最初は参加者が少なくて、5～6人しか集まらない時も何回かありました。今運営に参加して下さっているスポレクOBは10名位です。ここ迄やって来れたのも、この10名のメンバーの努力と結束のおかげですね」

鈴木克忠さん、廣井正司さん（共にスポレク25期）も「我々仲間の団結が無ければ、ここ迄大きく育たなかったと思います。レイ大OBならではの、まとまりの良さですよ」

「ちよいスポクラブ」の会員登録数は、6月末で252人になった。手軽さが受けて、会員は増加傾向にある。訪れたこの日は気温34度。暑い館内に元気に動くレイ大OB達の姿。道具の準備も後片づけも、驚く程の素早さで行う。疲れを知らぬOB達を支えているのは、仲間の輪作りに力を出そうという、強い情熱があるからだろう。



事故防止のため準備運動は念入りに



若いモンには、まだまだ

## 陶芸甲賀五人衆

甲賀支部 陶芸学科 26期 鶴田 章則

レイ大学26期陶芸学科卒業生の甲賀市在住の同期生5人で、「陶レイ会甲賀5人衆」と称したグループを結成しました。目的はこの5人で定期的に作品展を開いて互いに切磋琢磨していこうというものです。

まず個性あふれる5人衆の横顔を紹介しましょう。

- Iさん (79) 絵手紙の先生、墨絵を生かした食器の絵皿はプロ並み、作品展では購入希望者も出るほど。人を和ます人柄は愛称「お父さん」。
- Oさん (80) 穴窯2基を自分で築炉、行動力に器用さを持つ。穴窯焼締の火色を追求。大壺や大皿は豪快。前向きな意欲はいまだに壮年並み。
- Wさん (67) 尺八都山流のベテラン、尺八で演奏会や慰問。面倒見の良さは陶芸仲間に慕われている。偏壺作陶なら右に出るものがない。
- Nさん (66) 几帳面さが作品に。仕上げの良さと丁寧さは定評。28期陶芸科の助手を2年間務める。

Tさん (68) 陶芸歴12年も足踏み状態。シンプルさを作品の目標に。

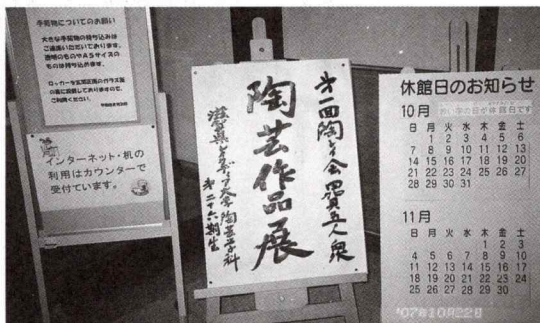
この5人で昨年(2017年)の10月に12日間、甲賀市甲南町甲南図書館ギャラリーで1回目の『陶レイ会甲賀5人衆作品展』を開きました。

レイ大卒業後に焼き上げた大皿や壺などの花器や花入れ、食器や小物など約50点を展示。作品はそれぞれ5人5色、個性の表れた作品展になりました。ギャラリーが玄関横のため図書館入館者の多くの人に鑑賞していただき、知人友人も作品を見に来てくれました。

作品を発表する機会の少ない5人衆にとって初めての経験、よい勉強になりました。今は第2回目の作品展を目標に全員が信楽田代高原で毎月2日間他のメンバーとともに作陶、個人では水口碧水荘や自宅で次の作品展を目標に陶芸に取り組んでいます。型作り、釉薬掛け、焼成、窯だし、何回も失敗を重ねながらも、次の作品造りに挑戦、陶芸の面白さ、楽しさを味わっています。出前陶芸教室、高齢者サロン陶芸やその他のボランティア活動も行っています。



作品の大皿



作品展場



会場の甲南図書館ギャラリー

## 近江歴史文化に光をあてる

近江八幡支部 スポレク学科 22期 小根田 守一

私は近江の歴史に興味を持ち国宝や文化財が県内に点在する歴史文化資源に驚嘆しました。これも倶楽部活動のおかげです。倶楽部の名称は近江歴史回廊倶楽部と申します。近江歴史回廊推進協議会の事業として、歴史大学が開講されました。当時レイ大に在学中の私は近江歴史の講義を諸先生から受講して興味を覚えましたので、第1回の近江歴史回廊大学に申込み運良く入学できました。

大学の講座はコースがあり、近江歴史回廊探訪10ルートが設定された道を、年毎に3コースを目途に講座が開かれています。希望者が多いので戦国の道は10年間引き続き開講されました。講座は1年限りでしたが近江の歴史の深さに感銘し、更なる学習の為に歴史大学からの指導も戴き倶楽部の創設を同窓生と図り、50余名で発足いたし今年10年目を迎え、会員も150名弱になりました。

倶楽部の目的は近江歴史文化を学習し文化資源に光を当てるとともに、地域への啓発活動と通じて皆様に近江の良さを紹介して、滋賀県に住む喜びと誇りを持ちたいとしています。

倶楽部員は歴史が好きな人なら誰でも入会できます。大半は近江歴史回廊大学の講座修了生です。私のようにレイ大卒業生も多数参加され要職に就き日夜ご尽力下さいます。会員の住まいも県下一円で、滋賀の企業に勤務された人達が入会されて滋賀を良く知りたいと望まれ、歴史文化の素晴らしさに入会できてよかったと言われています。

倶楽部の事業は会報を年4回発行します。滋賀県の歴史博物館・資料館を巻頭に掲載して、近江の歴史文化を身近に研修できる場所として広報しました。2頁からは特別に寄稿を願ったり、会員の研究報告や地元の特異な史実の報告があります。例会・見学会・各支部からの報告などを満載して各会員に送っています。事業部は年4回の例会を行い、現地見学学習を学芸員や研究者から受けます。他に年2回の見学会も気楽にバス旅行をしました。例会や見学会には家族や友人を誘って参加することにも意義があるので勧めています。

レイ大も地域文化学科が開設されました。卒業生が近江歴史倶楽部に入会されて、大学の学習成果をさらに高められ、地域文化発展に寄与されることを期待するものです。



信楽の歴史探訪



会報

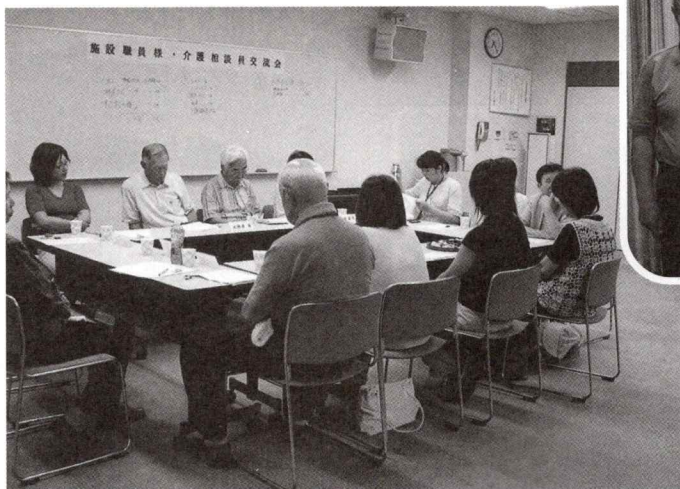
## 介護相談員として活動

近江八幡支部 スポレク学科 24期 高橋 一男

私達は介護保険法が施行された平成12年11月より研修、実習を受けその後2年間の学習を経て現在の近江八幡市介護相談員の体制をスタートさせるに到りました。

わが国は世界に例を見ない高齢化社会の到来を目前に、深刻化する高齢者の介護を社会全体で支える仕組みが作られています。

国民は保険料の負担が義務づけられると同時に、自らが必要な介護サービスを選択する権利を得ました。この運営主体は市町村にあり、高齢者が安心して暮らせる街づくりの手腕をその自治体が問われることを意味しています。そんな中で始まった近江八幡市の介護相談員制度でした。最初8名が先の研修を受け、2年後市と共同で介護相談員のカリキュラムに従い自前の研修を行い、次期10数名の介護相談員を誕生させるに到りました。近江八幡市は条例に基き介護相談員制度を創設して登録、各施設を訪問し介護相談員の活動が開始されました。現在では15施設に月2回程度介護相談活動をしています。その仕事内容及び目的は介護サービス利用者とサービス提供事業者は両者間の対等な地位を保ちながら橋渡しをしています。問題発生の事後処理的な解決の対応ではなく、サービス利用者の不満不安や疑問に気づき、キメのこまやかな対応をすることで苦情に至る事態を未然に防止することにあります。心のうちに潜んでいる問題にどう対処するか心理面の把握から始めることの難しさに最初は皆、戸惑いを感じました。毎月1回、近江八幡市介護相談員連絡会を開催し横の連携を保っています。平成20年5月現在29人（国内市町村人口当たり最高）レイ大卒業生24期川端悦子、25期西村敏明、26期犬井道子、27期大野田真、28期深川景一、29期大石正枝、高橋の7名で頑張っています。



介護施設との交流会



介護相談員の人たち

## 日野観光ボランティアガイド活動

中部支部 園芸学科 25期 大西 豊己

日野観光ボランティアガイド協会「わたむき」は、平成9年に発足し現在会員数は27名です。その中にレイ大卒業生が4名在籍しています。では、日頃の活動状況についてご紹介します。

ガイド活動は、ようこそ「日野商人と花のまち日野へ」のキャッチフレーズを基本に「おもてなし」の心から始まります。お客様から特に要望がなければ、協会でモデルコースを作成しておりますので、構成員等を考えた上で案内します。日野町は蒲生氏郷の城下町であったことで神社仏閣が多くあります。同時に日野商人の町として発展し、当時の商人本宅は、瓦葺の母屋に白壁土蔵、庭には松の木が植えられ、それを囲う板塀と棧敷窓が表通りの日野の街並みであります。しかし時代の流れでその優雅な街並みも残す所が少なくなり心苦しい思いで案内しています。

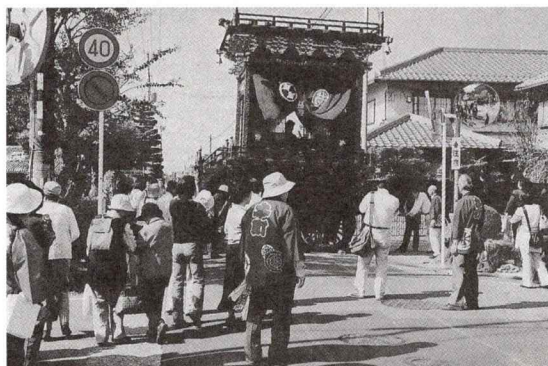
一方「花のまち」日野のお薦めは、4月末から5月の初旬に開花する国の天然記念物の本石楠花です。開花時期には、会員が毎日交替で石楠花溪を案内します。この時期5月3日は湖東地区1番の日野祭りの日であり、日野観光協会事務所を無料休憩所に開放し、お茶の接待と曳き山の集まる綿向神社での観光客の案内です。年間を通じガイド活動を発揮する良い機会でもあります。その他お客様のニーズに応えるため会員の知識向上の一環として数年前から、研修会を定期的に開催しています。講師を招き教科書の解説や、実践活動として現場に出向き、会員を客にたとえて案内をしています。また県ガイド協会の研修会には、会員の殆どが参加しております。

その他昨年の協会発足10周年には「わたむき10年のあゆみ」という会員の活動を掲載した小冊子を発行しました。同時に観光ガイド資料第2弾として「日野のことをもっと知りたい」という町内案内スポットの総合版300部を発刊することができました。

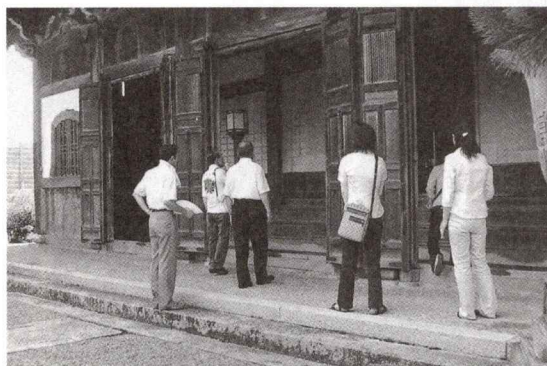
ガイドの他にも町の行政に積極的に参加協力しており、日野町から貢献度も認知されるようになりました。



会員の現地研修会（平成19年度）



日野祭の当日観光客にガイド（平成20年5月3日）



観光ガイドの様子、天台宗 信楽院大松寺（平成20年7月）

## 視覚障害者と共に

八日市点訳サークル「燈火」

中部支部 スポレク学科 20期 奥居 喜久子

設立年月日：平成5年9月1日会員数：18名  
活動日：毎月第1・第3金曜日  
活動場所：八日市福祉センターハートピア  
会費：年間3,000円 代表：奥居喜久子

### 特記事項

八日市社会福祉協議会会長表彰（平成11年2月10日）  
滋賀県社会福祉協議会会長表彰（平成11年10月3日）  
市政功労者表彰にて社会功労感謝状（平成12年11月3日）

滋賀県視覚障害者福祉大会にて久原賞（平成15年10月10日）  
滋賀県社会福祉事業功労者表彰にて滋賀県知事表彰（平成18年11月7日）

### 活動内容

市内の点字が読める視覚障害者17名に毎月定期的に、広報「ひがしおうみ」と生活の知恵や川柳など暮らしの情報（8頁）を点字でお届けしております。

また、社協の点字体験出前講座を担当し、県民福祉大学や市内の小中高校をはじめ、各方面への出前に協力。そして出前に行った先や図書館、福祉関係施設へ、年末には点字カレンダーを作製し、点字および視覚障害者に対する理解と認識が深まればとの

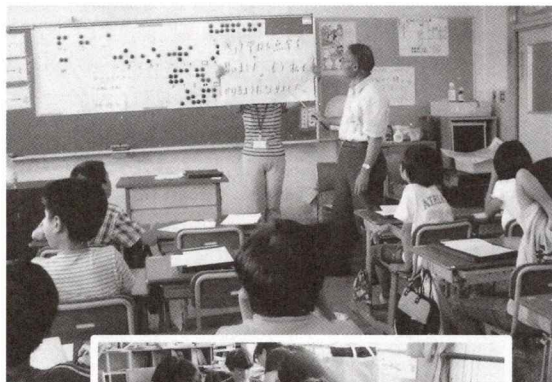
願いをこめて贈呈しております。

その他に、洋服の色や柄がわかる点字ラベルや、持ち物などにつける点字名札を作るなど、視覚障害者の生活に根ざした点訳をモットーに活動しております。

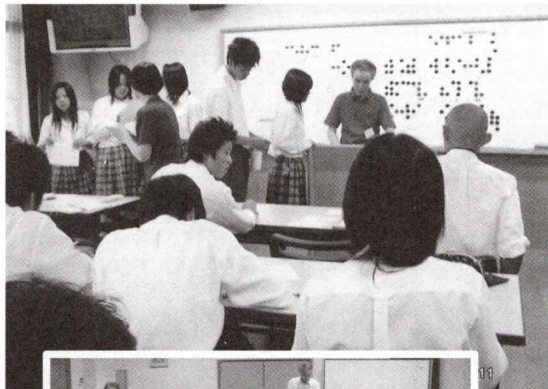
多くの会員が、視覚障害者の通院や会議などの外出に付き添うガイドヘルパーの資格を持ち、平素より個人的にも親しく、個人の要望に合わせて随時点訳。行政からは毎年ゴミカレンダーを、身障者厚生会では総会資料など要請があれば点訳させていただいております。

点訳には例外が多く、いろんなケースがあって奥深く大変なようですが、新しい発見、知ることの喜びや楽しさがあり、自分自身の勉強かたがたボランティア活動ができます。

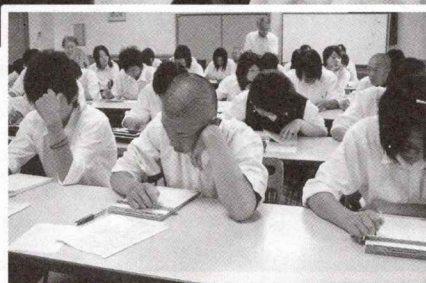
最近では、いろんな所で点字を見かけるようになりましたが、見ることで得られる情報が非常に多くなった現在、視覚障害者に対する情報は圧倒的に不足しており、タイプライターや効率のよいパソコンで、できるだけ多くの情報を提供できればと、一生涯懸命活動を続けております。



点字体験出前講座  
布引小学校



点字体験出前講座  
八日市南高校



## 銭太鼓 施設交流慰問

湖東支部 スポレク学科 28期 北河 博

「よくやる役者ぞろいのレイカース28」  
と中々、よい評判を頂いて居ります、  
今現在銭太鼓です。

■平安時代、京都・出雲・九州・越後  
より発祥し、民俗芸能に用いる楽器で、  
筒の中に銭を入れた物。これを打ち合  
わせたり振ったりして鳴らすのが銭太  
鼓です。ご承知の如く日本民俗楽器の  
ひとつで、リズム楽器・おどりの伴奏  
に使われます。

■レイカディア大学スポレク学科28期  
生20名で地域との交流、社会活動を考  
え、話しあって得たのがこの銭太鼓で  
した。(H18. 4)

■用具の準備に取り掛り、全て手作りで、  
銭太鼓・ハッピー・鉢巻など全員が材  
料、工具を持ち寄り一致団結で作業を  
終えました。(H18. 5)

■初公演は、米原社協夢ホール(H18.  
6)、近江社協やすらぎハウスの老人  
ホームで、凡そ40名の人達から、いつ  
までも鳴りやまぬ拍手を頂き、中は  
涙を目に浮かべ「よかった、よかった、  
また来てねえ」と喜んで頂き嬉しい  
評価をいただきました。



長浜、西部ディサービス

■銭太鼓、公演については毎月、各地  
区社会福祉協議会、クラスメートの紹介、  
お世話により高島市・木之本町・虎姫町・  
湖北町・長浜市・米原市・彦根市・愛  
荘町・東近江市・八幡市と殆ど県下一  
巡しており、複数回の所もあり当初よ  
り数えて延30数回になります。

■滋賀県広報誌、滋賀プラスワン(H18.  
9)げんき・いきいきチャレンジシニ  
ア仲間達と継続した活動を！レイ大銭  
太鼓の取り組み状況を写真入りで紹介  
されております。

■日中友好かけ橋の一端として彦根市  
の紹介により湖南省、湘潭市老人会を  
訪問。交流会、銭太鼓を通じて意義深  
く親睦と友好を深めあった。(H19. 6. 5)

■「レイカース28」共に学び友と体験  
したこの素晴らしい活動を心の糧とし、  
地域社会へボランティアとしていつ  
までも末永く精励する所存です。皆様  
方のご支援、ご鞭撻のほどよろしくお  
願ひいたします。

須川公演



文彦フェスティバル

## 地域の仲間と共に豊かな老後を送りたい

湖北支部 スポレク学科 21期 岸本 四郎

光陰矢の如し、レイ大を卒業して早や8年。在学中には選択科目はもとより講義においても諸先生のご指導を受け多くの知識を学ばせて頂きました。卒業時同期生が集い、今後地域に貢献し交流を図る為には、私達は何を為すべきかを話し合いました。当時、各地域共にサークル活動は少なく、県や市が母体となって行なわれていました。

この機に、大学で学んだフォークダンスを生かしたサークルを設立し、地域の活性化、高齢者の健康保持を目的として活動を始めようと言う事になり、木之本地域で山岡さんが、長浜では私が計画を担当する事になりました。

長浜では当時スポレク学科卒業生が少なく隣町の同期生に協力を依頼したところ快く承諾を得て、最初15名でスタートした会員も、日浅くして50名程度に増加し木之本クラブとの連携を保ち乍らお互いに練習を重ね、年1回発表会を開催しました。それから3年後、山岡さんが突然病床に伏し帰らぬ人となりました。病床で酸素吸入を受けながらも踊りの練習をされていたと聞き、志半ばで病魔に侵され、さぞ無念な事だったろうと思うと共に、今世の無情に涙するものであります。

現代の医学・医療の進歩により益々超高齢社会を迎えようとしている現在、老いて尚、心豊かに健康な日々を送りたいと願うのは万人の共通する思いであります。私達のクラブも現在会員数110名、50歳から80歳代に至るまで元気で皆と和気あいあいの中で楽しく頑張っています。

みんなと会えるのが楽しい、次の練習が待ち遠しいとか、思いは様々、休憩時には日頃の雑談に花を咲かせながら、和やかな笑顔で話合う姿に、自分もまた元気と生き甲斐を感じております。

木之本・長浜クラブの設立後、後期生が各地域でそれぞれにクラブを立ち上げ、湖北地区で現在10グループが誕生致しました。今年も湖北ダンスの集いが10月に開催される事になり、私達も参加する為に日々練習に汗して頑張っています。



長浜サンパレスでのレクダンス風景



大きい輪、小さい輪



## 輝く〈歴文会〉

湖東支部 文芸学科 26期 山岡 昇

昨年7月に発足いたしました「近江の歴史と文化を訪ねる会」（略称・歴文会）も漸く一年を経過し、会員皆さんの親睦の輪も広がり、当初目標として掲げました滋賀県一円の地域文化と歴史の理解も、回を追うごとに深まってきたところです。

ご承知のとおり、昨年のレイ大学第30期生の募集より、伝統ある「文芸学科」が消え、「地域文化学科」が新たに創設されました。既卒の文芸学科の皆さんにとっては大変ショッキングなことでもありましたが、おおかたはこれも時代の要請によるものかと、一抹の喪失感と寂しさを感じながら諦めきれない思いでおりましたのは、私一人ではなかったかと存じます。

そんな空気のなかで、ならば新しい「地域文化学科」とは何を勉強し、何を習得して地域社会に還元していくものであるか、むしろ積極的にこれからの生涯教育の範疇に捉えて、我々自身が行き組んで行ってみようと思ひ、皆さんに呼びかけていったのが丁度一年前のことでもあります。この旨を趣意書にもりこみ、学科を問わず、卒業年次も問わないことを条件とし、賛同者を募りましたところ、忽ち五十名に達する会員を集めることになりました。

ちなみに「学習会」と名付ける年4回の催行のうち、既に実施の三回を列記いたしますと、

## 第1回 「湖南三山と周辺の石仏・石塔を訪ねる」 H19.11.19

善水寺・常楽寺・長寿寺での講話、不動磨崖仏・廃少菩提寺の石仏を見る

## 第2回 「湖西路をゆく①」 H20.4.16

湖上タクシー（漁船）による琵琶湖の環境と海津大崎観桜、マキノ・朽木の史跡探訪

## 第3回 「比叡山三塔と無動寺谷を巡る」 H20.7.2

近江出身の比叡山三偉人「最澄」「相応和尚」「元三大師」の足跡を訪ねる

いささか気負ったことを申しあげますが、歴文会の目的と学習の内容は、あくまで通り一遍の物見遊山に終わらせることなく、より広くより深く歴史と文化を見聞することにあります。そしてなご一歩をすすめて、われわれシニア世代が率先実行し、家族は勿論のこと地域社会のみなさんにも〈レイカディア讃歌〉にあるような理想郷実現への精神を醸成し、さらにはこの滋賀県の歴史文化の環境を、大切に守っていくことにあるのではないかと考えております。

## 銭太鼓公演で地域と繋がる

湖北支部 スポレク学科 28期 田中 志げ子

私達米原校スポレク28期生20名は「レイカス28」のグループ名で、銭太鼓を中心に一人一人の個性を生かして地域の高齢者との交流を深めてきました。

この活動のきっかけは、レイ大在学中のインターンシップや学習発表会にありました。大学での発表会がその場限りで終わるのではなく卒業後も同じ仲間と共に地域貢献に繋げたいという思いからスタートしました。



犬上郡ハートフルセンターでの入所者との交流うたの会

地域貢献の第一歩は、レイ大1年の6月に米原社協のデイサービス「ゆめホール」への訪問でした。続いて「やすらぎハウス」。彦根社協の「さざなみ苑」など老人の介護施設への交流訪問を行ってきました。交流の内容は単に舞台上から芸を見せるだけでなく、一緒に唄ったり踊ったり、手を取り合って親しみ深い交流になるよう心掛けてきました。

この様な活動が口コミで伝わり、各地の老人会やふれ合いサロンからも公演の依頼がくるようになりました。各会場とも1時間前後の公演交流を行いました。在学中には10回を超える公演に出かけました。また、ある会より中国湖南省長沙市へのボランティア公演に誘われ、有志9名で参加して、現地の高齢者とも交流を深めてきました。



中国湖南省長沙の老人施設訪問

卒業後は勤めを持つ仲間も多く、仕事の都合で参加できないため、有志の者8名から10名で公演依頼に応じています。卒業してから現在までに20回を超える公演を行なっています。

介護施設への訪問交流では、平素無表情な利用者の方が笑顔をみせたり、懐かしい歌を大きな声で唄ったりして、お世話をする職員の方を驚かせる光景もあり、嬉しく思いました。老人会やサロンでは、歌にアドリブで動作などをつけ、大笑いを誘うこともあり「久し振りに大笑いをした。」と喜んでもらえました。そして、あちこちで再度の依頼も受けています。

私達ボランティアの仲間にとっても、公演の場で戴く大きな拍手や声援は大きな喜びであり、励みにもなっています。この喜びが次の活動への原動力となり、私達一人一人の生き甲斐となっています。

ご縁があれば、またどこかで同窓会の皆様とお会いできることを楽しみにしています。



米原市池下老人会サロンでの銭太鼓の実演風景

## “いつまでもはつらつと”

高島支部 文芸学科 20期 進士 良治

## ◆グループ名：はつらつクラブ ◆特徴：かなりの高齢者（最高齢者90歳）のグループ

地域の老人クラブ会長であったレイ大同窓会員進士良治を中心に6名のレイ大同窓会員が協力して老人クラブの活性化、友愛活動として、いつまでも健康で、長寿を喜び合えるようにと願いをこめて“はつらつクラブ”を立上げた。

参加者は、全く歩けない人（殆んど寝たきりの人でも連絡があれば車で送迎）でも参加する意欲のある人なら誰でも参加。

<活動内容> 草の根ハウスで出来ることを考え、誰でもできるゲームを工夫。

“はつらつクラブ”のきまり：イ. 月一回活動 ロ. おやつ代10円 ハ. お茶持参  
ニ. 昼食代500円（年4～5回）

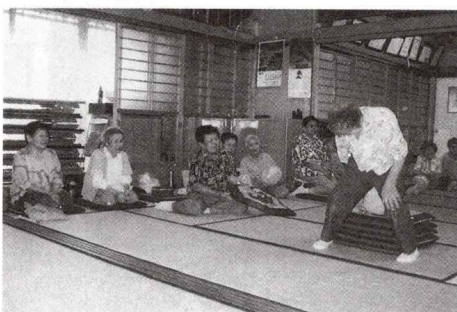
- カルタとり：太田郷の各地域や古くからの行事をもとに作成したカルタ。
- 音楽療法：歌集より童謡、唱歌、懐かしの流行歌を選曲し、愛唱歌集を作成。
- 転倒による寝たきり防止のマニュアルを作成し講習会を行う。

写真①：風船割りゲーム：風船をお尻で割るゲーム。紅白で5人リレー対抗。

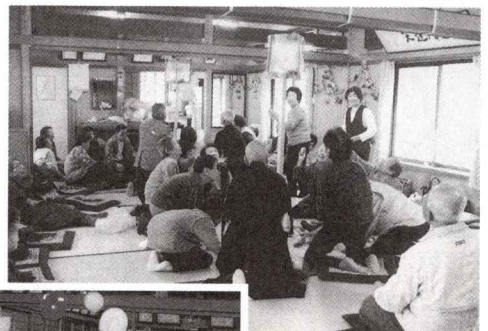
写真②：風船バレーボール：座敷（10畳が2間）の真中にネットをはり、5人対抗10個の風船を何個相手のコートに入れるかで競う。

写真③：玉入れ：150センチの高さの棒に直径30センチ、深さ40センチの籠に紅白に分かれ、座ったままで玉おじゃみを入れる。その他全部で約20種。

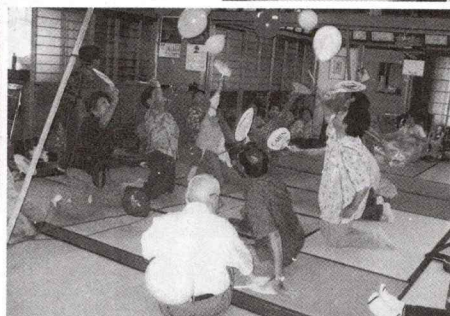
1. “はつらつクラブ”ができて7年目、参加者は30名～40名で、“はつらつクラブ”の活動日の来るのを皆待ちどうしいと言っている。皆のいきいきした顔で活動しているのを見て私たち同窓会会員として大変やりがいを感じている。
2. 太田地区に6名の同窓会員がいて、地域の老人クラブとタイアップし理想的な活動ができたと自負している。



写真①  
風船割りゲーム



写真③ 玉入れ



写真② 風船バレーボール

## 日本よし笛の会 高島支部の紹介

高島支部 園芸学科 26期 代表 濱頭 國男

月1回会員数30名が一同に集い（高島市新旭公民館）で新曲や童謡唱歌を中心に懐かしい歌等を練習しています。

平成17年9月レイ大同期の仲間や在校生達と高島支部を設立しました。

現在レイ大OB（10名）及び在校生等を中心に一般主婦達も交えて「よし笛の会」の運営にあたっています。

音色に魅せられて、各地域からコンサートの依頼が多くきています。私達ボランティア活動の一環として出来る限りお引受けしています。

また、よし笛の演奏を通して命や環境・自然の大切さ等に関するメッセージも発信しています。

琵琶湖の自然が生み出した“よし”その“ヨシ”を用いた「よし笛」は滋賀県の楽器です。

演奏依頼で最近出かけた主なところは、7月・荒廃した竹林を整備され自然観察等の出来る竹林公園でコンサート開催。3月・老人介護施設でコンサート開催。同月・幼稚園（保育園）で誕生会コンサート開催。

演奏に出かけてうれしいことは、後に、感謝の気持ちをお手紙にして頂いたときは大変うれしく次回コンサートに寄せてもらうのが楽しみになります。

新しい曲を練習して演奏曲のレパートリーを増やし、多くの人達に“よし笛”の透明感あるのびやかな音色で心癒される演奏をつづけていきます。



幼稚園での誕生会コンサート風景



## 取材記・広報部

## 第4回 湖北ダンスの集いを見てある記

広報部長 岡崎 一郎

取材候補の一つであった湖北のグループ活動で西岡支部長より、少し前に協力する旨の温かい電話をいただいていた。何時、誰と取材に行こうかと迷っている中、研修部より送っていただいた米原での「地域活動事例発表」の資料で、10月8日午後湖北町の体育館で「湖北ダンスの集い」があるとの情報を見付け、スポレクの仲間と会える喜びもあり、新快速電車で行く、取材活動を行った。

写真1



写真2



写真3



実行委員長は顔見知りのスポレク出身の佐倉喜代隆氏であり、進行係は同期スポレクの大野木千十さんでした。指導的役割をはたしている同じく同期の岸本四郎氏にも出会い、固い握手とともに、経過や動きを聞かせてもらいました。佐倉氏からは亡き同期の山岡宏史氏の功績を沢山聞かせてもらい、目頭が熱くなりました。

**写真1**：「みんなで踊ろう」の場面で、300人余りのメンバーが3重円になって、体育館いっぱいになり踊る様子は、窓からさす光があちこちにスポットライトとなり、ひかりかがやいて見えました。みんなで踊ろうが1ステージ、2ステージ、3ステージと3回10曲あり、大野木さんの柔らかいうまいリードで、たのしく踊っている雰囲気がよく伝わってきました。

**写真2**：10のクラブが日頃の練習の成果を披露するもので、多くの同志の前で、緊張気味に踊り、終わった後の温かい拍手に笑顔があふれてました。

実行委員長が唯一フォークダンス（他はレクダンスか民謡）に挑戦し、ちょくちょく間違っては会場から笑いをとってましたが、これも後で演出かもしれないと気づき、さすがーと感心しました。

西岡支部長も参加されているとのことで、ご挨拶をと思い探しましたが、ちょうど所用で外出されていたとのことで、後日の挨拶となりました。グループ紹介のフォローを兼ねた、取材でしたが、現場の熱気は取材して始めて味わうことができました。

**写真3**：駅までの帰り道で振り返ると夕日を浴びて、風にゆれるすすきとピンクの花を見つけ、今日の出会いに感謝して湖北を後にしました。



# 平成20年度 本 部 役 員



《滋賀県レイカディア大学同窓会》

役 職	氏 名	電話番号	備 考	
会 長	奥 村 常治郎		草津・栗東支部	
副 会 長	戸之洞 貞 夫		総務部長／湖北支部	
	木 村 茂 治			
事務局長	池 田 邦 治			
会 計	小 林 仁 司			
常任理事	岡 崎 一 郎		広報部長／大津支部長	
	三 上 善 弘		研修部長／草津・栗東支部長	
	小 林 仁 司		総務部／守山野洲支部長	
	木 村 茂 治		広報副部長／近江八幡支部長	
	小 林 和 男		研修部／甲賀支部長	
	本 間 小一郎		総務部／中部支部長	
	金 子 良 一		研修部／湖東支部長	
	西 岡 孝 士		研修部／湖北支部長	
	池 田 邦 治		研修部／高島支部長	
	理 事	成 瀬 莞 彌		総務部／大津副支部長
		平 井 和 子		研修部／大津支部
宇 野 愛 子			広報部／草津・栗東副支部長	
国 松 功			総務部／草津・栗東副支部長	
鳥 居 義 樹			研修部／守山野洲副支部長	
黒 田 玲 子			広報部／守山野洲副支部長	
木 田 勝 彦			総務部／甲賀副支部長	
井 代 一 枝			広報部／甲賀副支部長	
岡 田 定 一			研修部／近江八幡副支部長	
園 田 花 子			総務部／近江八幡副支部長	
奥 居 喜久子			広報部／中部副支部長	
矢 野 高 安			研修部／中部副支部長	
小 玉 德 承			広報部／湖東副支部長	
木 村 傅 平			総務部／湖東副支部長	
田 中 孟			総務部／湖北副支部長	
吉 田 英 治			広報部／湖北副支部長	
松 本 敬 三			広報部／高島副支部長	
大 塚 雅 子			総務部／高島副支部長	
監 事	清 水 敏 男		湖北支部	
	桐 畑 実		湖北支部	

## 編集後記

広報部長 大津支部 (21期・スポレク学科) 岡崎 一郎

平成20年度広報部長を拝命し、奥村会長、各支部長、広報部員、および関係各位の皆様にご助けられて、會報25号の発行に何とかこぎ着けました。奥村会長の方針として「サムシングニュー」を會報にも求められており、今年の特集でグループ紹介を取り上げ、その選択の条件に“地域貢献の輝き”を付け加えて支部長さんを通じてお願いしました。どれも、中身の濃い記事となりありがとうございます。

近江八幡支部 (19期・園芸学科) 木村 茂治

同窓會會報発行も第25号となり、諸先輩のご努力と会員皆様のご協力に感謝、同時に広報部員の責任の重さを痛感しています。

「継続は力なり」同窓會と共に歩んで来た會報の末永き事を祈念しながら。

草津・栗東支部 (17期・文芸学科) 宇野 愛子

今年も貴重な体験談を数多く読ませて頂きました。「この字は国語辞典には見当たらないけれど、ルビを打ってでも原稿のままの方が意味がよくわかるのでは」「戦争体験は、余程忘れられないものらしいネ」と。つぶやきながらの校正作業でした。特集のグループ紹介では、ボランティア活動の様子が手に取るように詳しく述べられ、感銘を受けました。又、卒業生の仲間だけでなく、以外の方たちとの協力により、地域の人々との暖かい交流に努められている様子には、輪の広がりを感じました。私も精いっぱい生きていく勇気をいただきました。ありがとうございます。

守山・野洲支部 (22期・スポレク学科) 黒田 玲子

この會報の編集に参加出来、何気なく原稿を見せて戴いていましたが、これこそレイ大の仲間の方々の「今」をまさしく楽しみ、考えながら過ごしていらっしゃる心の叫びだと、気がつきました。ある人は自身の病気に苦しみ、ある人は戦争で逝かれた方々を悼み、ある人は社会の方々に貢献出来る自分を高めるために努力する。などなど遅いかも知れませんが、私も60年の人生を背景に「今」を楽しみ懸命に

生きてみたいものと改めて思いました。良き仲間にかんぱい!!

甲賀支部 (24期・スポレク学科) 井代 一枝

自筆の原稿等を拝見して、戦争体験や予期せぬ空き巣に入られた時の思い等、人生の辛苦をくぐりぬけられた先輩の温かい落ち着いた気持ち伝わってきました。又、元の上司の文面にも接する事が出来、今の様子と昔の職場での元気だった頃を思い出し、この部会に参加させて頂いてよかったですと感謝で一杯です。

中部支部 (20期・スポレク学科) 奥居喜久子

点訳サークルで、毎月「暮らしの情報」を発行しておりますが、県下のレイ大同窓會会員の多くの方々のご寄稿に接し、さすが天下?のレイ大卒業生と感銘をうけました。

このような會誌の編集に携わることが出来る、いろいろと勉強させていただき感謝しております。

湖東支部 (20期・文芸学科) 小玉 徳承

たとふれば退路を断ちてただ前に進み来し  
長きわが過去 秋葉四郎

いつの日空は青きを増すか 風はうたうか  
夢は届くか 梓 志乃

二〇〇八年は万人平等に年の暮れを迎える時期になっています。私の好きな短歌を。敢えて、本年の唱えて、来る年に同窓会員のみなさまのご多幸を祈念します。

湖北支部 (26期・園芸学科) 吉田 英治

今回、広報部を担当することになり、過日の編集会議で、各支部活動の原稿を読ませていただくと、それぞれ素晴らしい活動をしておられ敬服しました。

また、レイ大卒業生の原稿を読ませてもらうと、それぞれの方がレイ大で学んだ事を地域で、同窓生が中心になりいろんな活動を生きがいとして頑張っておられる姿がよく伺い知ることが出来ました。

高島支部 (23期・文芸学科) 松本 敬三

広報部会の一員として、平成20年度の會誌編集に携わり、県下の同窓會の皆さんが、さまざまな分野で、地域での活動に精力的に取り組んで居られる姿を、原稿を通してつたわってきました。又、お一人お一人の生きる姿も、目の当たりに実感いたし大変勉強になりました。

滋賀県レイカディア大学同窓会

『會報』 25号

発行：平成 20 年 12 月 15 日

編集：滋賀県レイカディア大学同窓会  
同窓会事務局

〒525-0072

草津市笠山七丁目 8-138

(滋賀県レイカディア大学本部)

印刷：大津紙業写真印刷株式会社



